

ディスクロージャー誌
2017年3月期 営業のご案内

2017



**WITH YOUR
CHALLENGE** 

応援したい。挑戦するすべての人を。

イメージキャラクター
鈴木愛理

CONTENTS

千葉銀行のプロフィール	1
ちばぎんグループのCSR	2
ちばぎんグループのご紹介	3
頭取インタビュー	5
地域と、お客さまと、共通価値の創造へ	
新中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage – 価値共創の3年」	8
2017年3月期 業績のご報告	9
資産健全化への対応と再生支援	11
連結財務諸表(要約版)	13
単体財務諸表(要約版)	14
戦略的アライアンスの推進	15
デジタルバンキング戦略	17
地域密着型金融の推進に関する取組み	19
事業性評価への取組み・経営者保証ガイドラインへの対応	24

千葉銀行のプロフィール (2017年3月31日現在)

設 立	1943年3月
拠 点	国内 181店舗(本支店157、特別出張所5、出張所16、仮想店舗3) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 47,346か所 (うちイーネットとの提携による共同ATM13,499か所、セブン銀行との提携による共同ATM 21,694か所、ローソンとの提携による共同ATM 11,874か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 3駐在員事務所(上海、シンガポール、バンコク)
従業員数	4,357人
総資産	14兆262億円
預金	11兆5,657億円
貸出金	9兆3,053億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結13.59% 単体13.03%



※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772



ちばぎんをもっと近くに、もっと便利に。

ちばぎんとお客さまを結ぶ
新しい窓口のご紹介です。

※こちらのQRコードを読み込んでください。

ちばぎんアプリ



LINE



Facebook



地方創生に向けた取組み	25
「お客さま本位」の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する方針	27
店舗ネットワーク	28
ちばぎんグループのESGへの取組み	29
ダイバーシティの推進	32
お客さま満足度向上に向けた取組み	33
人材育成の強化	34
コンプライアンス体制	35
リスク管理体制	37
主要な業務内容	43
役員及び組織	44
ネットワーク等のご案内	
店舗・キャッシュコーナー一覧	45
主な手数料一覧	53

ちばぎんグループのCSR

グループ CSR 活動方針

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、金融仲介機能の発揮等の本業に加え、誠実かつ公正な企業活動、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻くさまざまな課題解決に向けた活動等に、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って、積極的に取り組んでまいります。

そして、これら当行グループの取組みの情報開示をつうじ、ステークホルダーの皆さまとのより良い関係作りに注力いたしますとともに、「新たな地域社会の姿」を皆さまと描いてまいります。

ちばぎんグループの社会貢献活動

ひとの未来を育む

地域への金融教育の普及、社会福祉・文化芸術活動の支援など思いやりのある豊かな地域社会づくりを応援してまいります。

- ・ちばぎんハートフル福祉基金による助成
- ・職場体験の受け入れ、出張授業の実施
- ・ちばぎんひまわりコンサートの開催
- ・ちばぎん金融資料室の運営(ちばぎんみらい財団)
- ・アートスペース「ちばぎんひまわりギャラリー」による企画展・公募展の開催
など

環境の未来を育む

地球温暖化を身近な問題と捉え、CO₂の排出量削減につながる温暖化対策や地域の美化活動・緑化活動に取り組んでまいります。

- ・「ちばぎんの森」育樹活動
- ・海岸の清掃活動「クリーンウォーク」
- ・環境省ライトダウンキャンペーンへの参加
- ・「省エネ・ECOセミナー」の開催
など

産業の未来を育む

地方創生・地域の活性化を使命として、金融仲介機能の発揮に加え、地域の産業の発展に貢献する活動を展開してまいります。

- ・観光用レンタサイクルの贈呈
- ・ひまわりベンチャー育成基金による助成
- ・「学生版ビジネスアイデアコンテスト」の開催
- ・中小企業従業員海外派遣事業(ちばぎんみらい財団)
など

ちばぎんグループのご紹介

ちばぎんグループは、当行のほかグループ会社14社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しております。



2016年7月、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」加盟行*及び日本アイ・ビー・エム株式会社が共同出資し、フィンテックを活用した金融サービスの企画・開発等を行う「T&Iイノベーションセンター株式会社」を設立しました。

*千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行

千葉銀行

(2017年7月10日現在)

- 国内 本支店158 特別出張所5 出張所15 仮想店舗3 両替出張所3
- 米州 ニューヨーク支店
- 欧州 ロンドン支店
- アジア 香港支店 上海駐在員事務所 シンガポール駐在員事務所 バンコク駐在員事務所

グループ会社

(2017年7月1日現在)

●証券・資産運用事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎん証券株式会社* 〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館2階 TEL:043-222-1141	証券業務	設立: 1944年3月27日 資本金: 4,374百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんアセットマネジメント株式会社 〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-13-7 TEL:03-5638-1450	投資助言業務、 投資運用業務	設立: 1986年3月31日 資本金: 200百万円 当行議決権比率: 40% 当行子会社等議決権比率: 35%

*ちばぎん証券株式会社の営業店舗(全16店舗):本店営業部、茂原支店、木更津支店、市原支店、旭支店、八千代支店、成田支店、東金支店、鎌ヶ谷支店、柏支店、松戸支店、津田沼支店、館山支店、東京支店市川営業所(以上千葉県)、東京支店(東京都)、南つくば支店(茨城県)。

●調査・コンサルティング事業

会社名	主な業務内容	会社概要
株式会社ちばぎん総合研究所 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-351-7430	調査・研究業務、 コンサルティング業務	設立: 1990年2月28日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 31.77% 当行子会社等議決権比率: 68.23%
ちばぎんコンピューターサービス株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-213-8881	ソフトウェアの開発業務、 計算受託業務	設立: 1980年4月1日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 48.67% 当行子会社等議決権比率: 51.33%
T&Iイノベーションセンター株式会社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング TEL:03-3516-0090	IT、金融等の調査・研究業務、 コンピューターのソフトウェア開発 及び販売業務	設立: 2016年7月1日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 40%

●リース・ベンチャーキャピタル事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎんリース株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-275-8001	リース業務	設立: 1986年12月15日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 51%
ちばぎんキャピタル株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-298-2232	投資事業組合(ファンド)の運営・ 管理業務、 M&Aのアドバイザー業務	設立: 1984年5月29日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 30% 当行子会社等議決権比率: 70%

●クレジットカード事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎんジェーシービーカード株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-296-7288	クレジットカード 信用保証業務	設立: 1982年11月1日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 51%
ちばぎんディーシーカード株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-276-2411	クレジットカード 信用保証業務	設立: 1989年2月16日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 40% 当行子会社等議決権比率: 60%

●業務受託・職業紹介事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎんキャリアサービス株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-298-2020	経理総務受託業務、 職業紹介業務	設立: 1989年12月22日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんハートフル株式会社 〒261-0011 千葉市美浜区真砂4-1-10 TEL:043-270-7341	事務代行業務	設立: 2006年12月1日 資本金: 10百万円 当行議決権比率: 100%
株式会社 総武 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-276-5121	千葉銀行用店舗・厚生施設の賃貸・ 保守・管理、調度品・消耗品等の調達・ 販売業務	設立: 1959年9月7日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%

●信用保証・債権管理事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎん保証株式会社 〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 TEL:043-247-5770	信用保証業務、 集金代行業務	設立: 1978年5月1日 資本金: 54百万円 当行議決権比率: 45.63% 当行子会社等議決権比率: 54.37%
ちば債権回収株式会社 〒261-0023 千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル TEL:043-213-6411	債権管理回収業務	設立: 2001年10月1日 資本金: 500百万円 当行議決権比率: 100%

「グループ一体経営」の実現に向けた態勢整備の一環として、グループ連携の一層の強化を図るため、グループ会社のうち9社の本社を幕張新都心地区の「ちばぎん幕張ビル」に集約いたしました。



ちばぎん幕張ビル



八木 ひとみさん(インタビュアー)

2008年に山口朝日放送でアナウンサーとしてスタート。TBS「ニュースバード」や、「日経CNBC」を経て、2017年4月より、NHK-BS1「経済フロントライン」のキャスターを務める。



取締役頭取 佐久間 英利

1976年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、2003年6月取締役就任、2009年3月取締役頭取に就任。

地域と、お客さまと、共通価値の創造へ

2016年度を振り返って

八木：頭取にとって、2016年度はどのような1年となりましたか。

頭取：昨年度は前中期経営計画の最終年度にあたり、あらゆる面で「攻め」の姿勢を前面に打ち出すことができたと思います。お客さまが抱える課題の解決に向けて付加価値の高い提案を行い、地方創生に積極的に貢献するとともに、業務の集約や専門化により生産性を高め、他行との連携やシステムの共同化を積極的に推し進めました。一方で、将来に向けた布石もしっかりと打つことができた実感しています。社会のデジタル化が急速に進むなか、「サービス」「業務」「行員」の3つの視点でデジタルバンキングへのシフトを進め

ています。そのなかで、昨年7月にフィンテックの調査・研究のための共同出資会社を設立したほか、9月には真砂支店にて次世代営業店モデルの実証実験をスタートさせました。また、ITを活用した業務の抜本的な見直しやワークスタイル変革を進めるため、10月に「働き方改革推進部」を設置しました。いずれの取組みもこれまでの常識や固定観念にとらわれない新しい発想で積極的な自己変革に挑戦していくものです。

八木：2017年3月期の決算について詳しく教えてください。

頭取：連結経常利益は前期比79億円減少の776億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比27億円減少の527億円となりました。日銀のマイナス金利政策等による影響を受けたものですが、純利益としては過去3番目の業績を収め

ることができました。さらに、連結総自己資本比率は13.59%と引き続き高い健全性を維持しています。

貸出金の残高は、前期末比5,079億円増加の9兆3,053億円と、9兆円の大台を突破しました。また、預金は、個人預金の増加などにより前期末比4,255億円増加し11兆5,657億円となりました。なお、2018年3月期は増益を見込んでいます。

新中期経営計画がスタート

八木：新しい中期経営計画の概要について教えてください。

頭取：当行は、今年度より第13次中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage—価値共創の3年」をスタートさせました。新中期経営計画では、『お客さまの課題解決と地域経済活性化に注力し、それらが当行の成長や健全性維持につながる』という考え方を「価値共創」という言葉で表現し、「お客さまとの共通価値の創造」「全ての職員が輝く働き方改革の実現」「持続的成長に向けた経営態勢の強化」という3つの主要課題を掲げております。そのなかで、事業性評価に基づく取引先企業の本業支援や地方創生への取組みを一層強化するとともに、引き続き千葉県を主要基盤としつつも、戦略的営業地域である東京23区への拠点新設や「千葉・武蔵野アライアンス」の連携を深めることにより、首都圏でのシェア拡大を図っていきます。さらに、全ての業務において「お客さま本位」の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)を一段と徹底していきます。なお、計画期間終了時の2020年3月期の目標とする指標として、親会社株主に帰属する当期純利益600億円、貸出金残高10兆5,000億円、預金残高12兆5,000億円など6項目を設定しました。

八木：新しい中期経営計画ではダイバーシティの

推進だけでなく、働き方改革にも積極的に取り組まれると聞きました。

頭取：ダイバーシティを経営戦略として位置付け、多様な人材の持ち味を生かし、環境変化に柔軟かつスピーディーに対応していくことで、持続的な成長を目指しています。これに加えて、職員一人ひとりの働き方を見直し、業務の生産性を高めることで、お客さまのご期待に、より高い次元でお応えできる態勢を整備していきます。

なお、これまでの取組みを評価いただき、今年3月には厚生労働省による第1回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」において、当行は金融機関で唯一となる奨励賞をいただきました。これを励みとして、全ての職員が輝く働き方改革の実現に向け、一層努力していきます。

戦略的アライアンスの推進

八木：他の地方銀行とも積極的に連携していますね。「千葉・武蔵野アライアンス」は1年が経ちましたが、どのような効果が出ていますか？

頭取：埼玉県を地盤とする武蔵野銀行との「千葉・武蔵野アライアンス」では、当初の想定を超える様々な施策が実現しました。これは業務分野ごとに両行が協働し、できるものからスピード感をもって取り組んだ成果だといえます。こうした動きを組織的かつ持続的に維持・発展させていくため、今年4月に両行が同額出資をして「千葉・武蔵野アライアンス株式会社」を設立しました。両行の役員などで構成する「アライアンス推進委員会」をつうじて、アライアンスの中長期的な戦略、組織横断的な施策などの検討を行い、両行に提言する役割を担っていきます。

八木：「TSUBASAアライアンス」でも連携は深まっているようですね。

頭取：当行・第四銀行・中国銀行・伊予銀行・

東邦銀行・北洋銀行の地銀6行が加盟する「T SUBASA金融システム高度化アライアンス(T SUBASAアライアンス)」はフィンテックなどの先進的なIT技術の調査・研究を目的としています。今年5月には、6行と6行共同出資会社のT&Iイノベーションセンター株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社によるAPI(Application Programming Interface)共通基盤の構築を目指すプロジェクトがスタートしています。そのほかにも、シンジケートローンの共同組成や、第四銀行・中国銀行・東邦銀行と相続関連業務での提携も実現しました。

今年4月に経営企画部内に設置した「アライアンス推進室」を専担部署として、それぞれのアライアンスを一層深化させていきます。

千葉銀行が目指す姿

八木：千葉銀行の今後の戦略を教えてください。

頭取：新中期経営計画で掲げた主要課題に関する施策を着実に実行していくことで、将来の環境変化にも揺るがない強固な営業基盤・経営基盤を構築していきます。グループ役職員が一致団結して、先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとする地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを目指していきます。

八木：店舗戦略についても詳しく教えていただけ



ますか。

頭取：戦略的営業地域と位置付ける東京23区内での積極的な拠点拡充を図っていきます。昨年10月に都内14拠点目となる「池袋法人営業所」を新設したほか、今年7月にはフルバンク型の「恵比寿支店」をオープンさせました。千葉県内では、老朽化した店舗のリニューアルを進めるとともに、真砂支店での実証実験をよく検証したうえで、「次世代営業店」への切替えを順次実施していく計画です。

八木：「次世代営業店」はどのような店舗になるのですか。

頭取：ITを活用した新たな業務機器の導入により、お手続きにかかる負担の軽減や待ち時間の短縮など、お客さまの利便性を向上させていきます。また、店頭事務をセルフ化することで、より少ない人員で店頭運営できるよう内部業務を効率化しローコストオペレーションを実現します。ここで捻出した人員や時間をお客さまとの相談業務に充てることで、お客さまにとって営業店が「より便利に、よりじっくりと相談できる」スペースに生まれ変わります。

八木：今後の展開を楽しみにしています。これからも千葉県の発展にますます重要な役割を果たしていかれることを期待しています。

頭取：ありがとうございます。これからも地域の皆さまのご期待に応えられるよう、全力を尽くしてまいります。

新中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage -価値共創の3年」

2017年4月より、第13次中期経営計画をスタートさせました。

第13次中期経営計画

ベストバンク 2020

Final Stage-価値共創の3年

2017.4.1~2020.3.31



目指す姿

- 新中期経営計画は、前中期経営計画で掲げた2020年の目標である「リテール・ベストバンク」グループをつくりあげる総仕上げの3年(Final Stage)です。
- 「お客さま」「株主」「従業員」「地域社会」など多様なステークホルダーとともに共通価値を創造(価値共創)することで、先進的かつ高い生産性と揺るぎない信頼を確立し、地域とともに持続的な成長を実現していきます。

先進的なサービスで個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに、最高の満足と感動を提供する

「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

CS(お客さま)

「お客さま第一主義」を徹底し、先進的なサービスやソリューションの提供をつうじてお客さまのニーズにスピード感をもってお応えします

ES(従業員)

ダイバーシティの一層の推進や働き方改革をつうじて、職員一人ひとりが能力を最大限発揮し働きがいのある魅力的な職場をつくります

SS(地域社会)

地域のリーディングバンクとして、グループの総力を結集し、地域の活性化をリードしていきます

主要課題

お客さまとの共通価値の創造

- 取引先企業の経営課題解決や「お客さま本位」の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)の徹底により、お客さまにとってさらに価値ある商品・サービスを提供します
- デジタル化に対応した先進的で付加価値の高いサービスを提供します

全ての職員が輝く働き方改革の実現

- ダイバーシティを一層推進し、性別・年齢問わず全ての職員が輝ける組織を実現します
- 職員一人ひとりの働き方を見直し、付加価値の高い業務に特化できる態勢を構築します

持続的成長に向けた経営態勢の強化

- 「千葉・武蔵野アライアンス」や「T SUBASA金融システム高度化アライアンス」など、他行との連携を一層強化します
- 業務プロセスを抜本的に見直すことでローコストオペレーションを実現します

目標とする指標

2020年3月期に目標とする指標

親会社株主に帰属する当期純利益
600億円
(2017年3月期 527億円)

連結ROE*
7%台
(2017年3月期 6.86%)
※【資本=株主資本】にて算出

連結普通株式等Tier1比率
12%台
(2017年3月期 12.65%)

貸出金残高
10兆5,000億円
(2017年3月期 9兆3,053億円)

預金残高
12兆5,000億円
(2017年3月期 11兆5,657億円)

グループ預かり資産残高
2兆5,000億円
(2017年3月期 2兆100億円)

2017年3月期 業績のご報告

2017年3月期は、日銀のマイナス金利政策などによる影響もあり、連結経常利益が前期比79億円減少の776億円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比27億円減少の527億円となりました。概ね業績予想どおりの堅調な業績となり、また、純利益は連結・単体ともに過去3番目の業績を収めることができました。

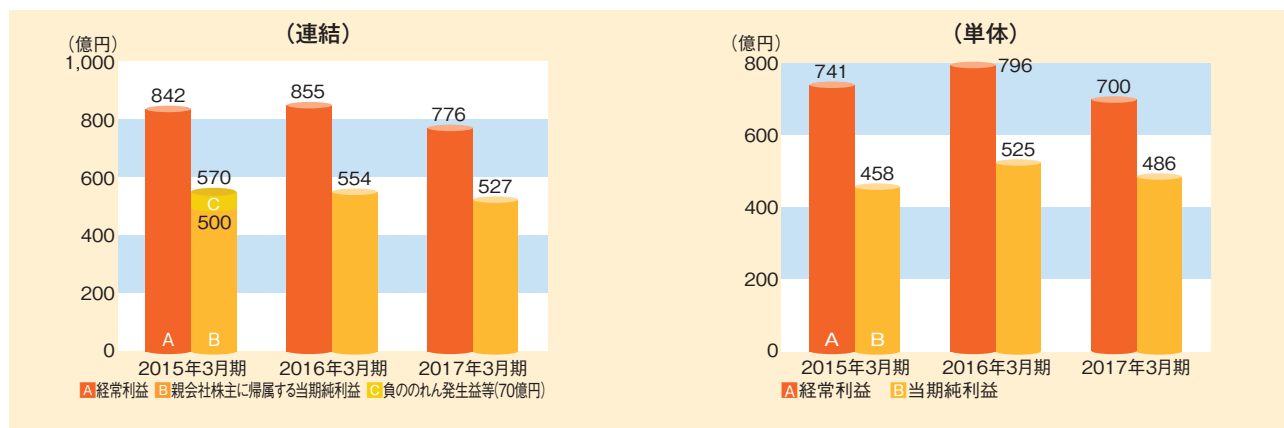
総自己資本比率は、連結で13.59%、単体で13.03%となりました。

なお、ROEは5.85%、OHRは57.59%となりました。

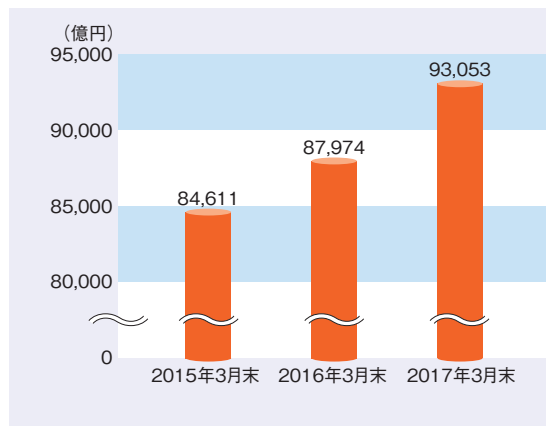
貸出金は、前期末比5,079億円増加の9兆3,053億円となりました。そのうち、中小企業向け貸出が前期末比3,550億円増加、住宅ローンが前期末比1,412億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより、前期末比4,255億円増加し11兆5,657億円となりました。

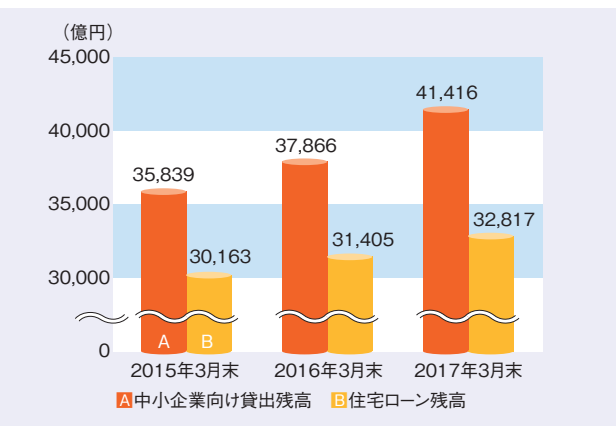
■ 損益の状況



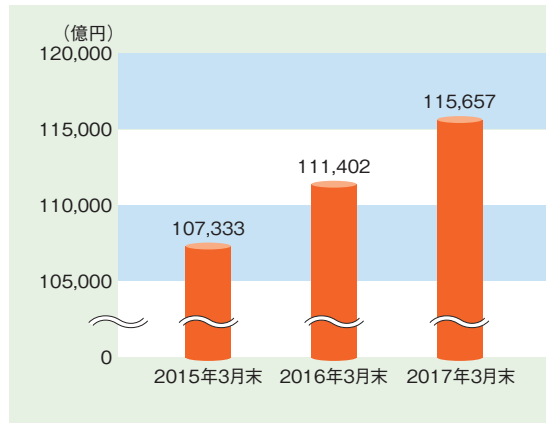
■ 貸出金の状況



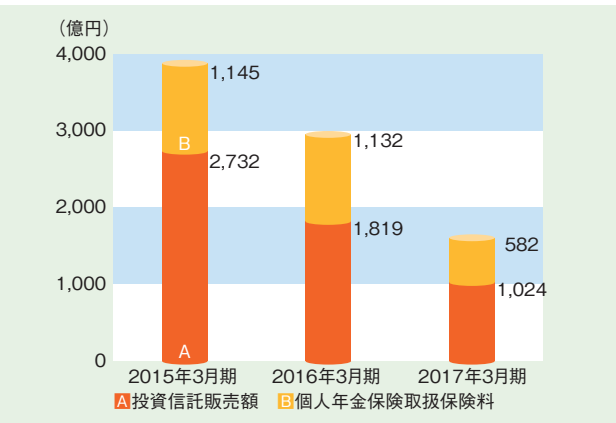
■ 中小企業向け貸出・住宅ローンの状況



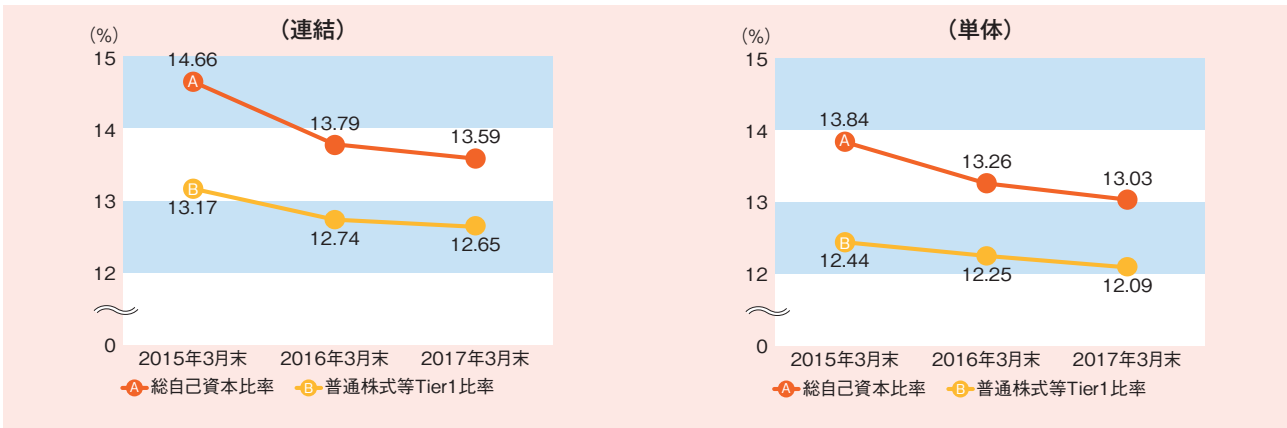
■ 預金の状況



■ 投資型金融商品の状況



■自己資本比率の状況



用語解説

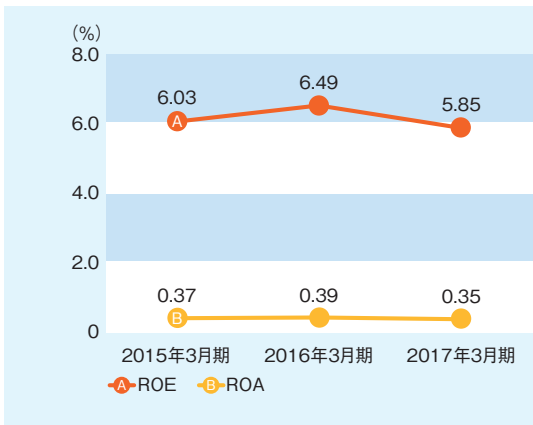
バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合以上持つように義務づけています。

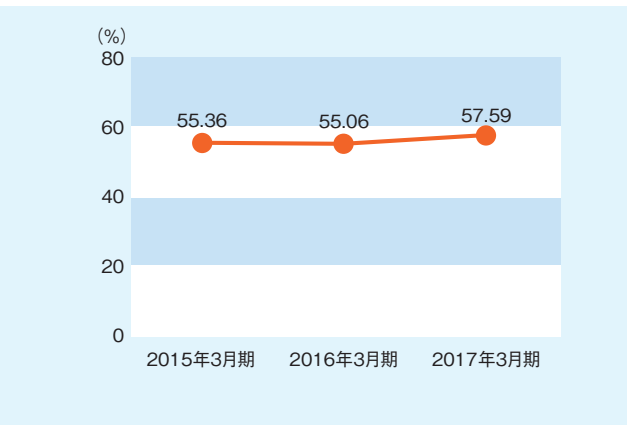
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められています。

■ROE、ROA



■OHR



用語解説

ROE、ROA

ROEとは「当期純利益」を「期首純資産の部と期末純資産の部合計÷2」で除したもので、資本の効率性を示すものです。また、ROAとは「当期純利益」を「総資産の平均残高」で除したもので、資産の運用効率を示すものです。

OHR(オーバー・ヘッド・レシオ)

「経費」を「業務粗利益(一般事業会社では売上高総利益に相当)」で除したもので、数値が低いほど高い効率性・生産性を有することを示しています。

資産健全化への対応と再生支援

資産健全化への対応

当行では、不良債権の適切な処理、不良債権の新規発生防止、取引先の財務改善支援等により、常に資産の健全性の維持・向上に努めています。

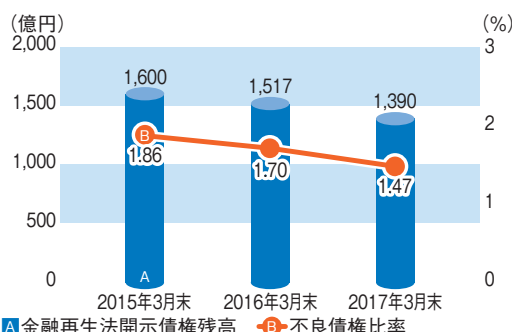
不良債権とは、金融機関が有している貸出などの債権のうち、企業倒産や業績不振などのため、元本や利息の回収に懸念のある債権を指しています。

貸出金等からの利息収入は、銀行の収益の根幹です。しかし、貸出金の回収が困難になると、銀行の財務内容に大きな影響を及ぼすことになりかねません。そのため審査体制や信用リスク管理体制の整備を進めています。

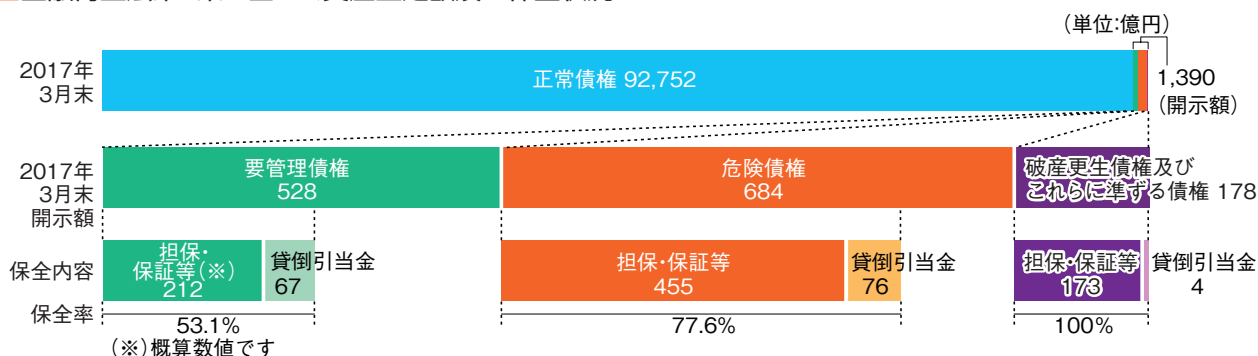
2017年3月末時点の金融再生法開示債権残高は1,390億円となり、不良債権比率は1.47%となっています。

引き続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会等の外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

金融再生法開示債権の推移



金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



自己査定と債務者区分

資産の自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することです。貸出金をはじめとする資産を、その信用力に応じて、「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5つに区分しています。なお、「要注意先」の中で、貸出条件を緩和している先などを「要管理先」として区分しています。

債務者区分

正常先	業況良好かつ財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者
要注意先	赤字決算など、業況が低調・不安定になるなど今後の管理に注意を要する債務者
破綻懸念先	現状経営破綻の状態にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者
実質破綻先	法的、形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻の状況に陥っている債務者
破綻先	破産、清算、会社整理、会社更生、民事再生などの事由により経営破綻の状態に陥っている債務者

不良債権の処理

当行はこれまで、厳格な自己査定結果に基づき、各決算期毎に償却・引当等、適切な不良債権処理を行ってきました。

貸倒引当金については、「破綻先債権」「実質破綻先債権」は担保等で保全されていない債権額の全額、「破綻懸念先債権」「要管理先債権」は原則として過去の貸倒実績率に基づき算定した予想損失額を計上しています。なお、破綻懸念先及び要管理先債権のうち大口先に対しては、DCF法*による貸倒引当金の算定を行っています。

担保・保証に引当金を加えたもので算定した保全率は、金融再生法開示債権ベースで71.1%と高い水準を確保しており、今後の損失発生懸念は限定的なものとなっています。

*DCF法：債権の元本の回収及び利息の受取に係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができる債権について、当該キャッシュ・フローを当初の約定利率で割り引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法です。

不良債権の開示

不良債権の開示には、「銀行法に基づくリスク管理債権(以下、リスク管理債権)」と、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)に基づく資産査定による開示債権(以下、金融再生法開示債権)」とがあります。

なお、リスク管理債権は貸出金のみを開示対象としているのに対し、金融再生法開示債権は、要管理債権を除き、貸出金以外の支払承諾見返、未収利息、外国為替などを含んでいます。

リスク管理債権

リスク管理債権は、自己査定の破綻先を「破綻先債権」、実質破綻先と破綻懸念先を「延滞債権」、要注意先のうち3カ月以上延滞しているものについて「3カ月以上延滞債権」、貸出条件を緩和しているものについて「貸出条件緩和債権」として計上する方法をとっています。

■リスク管理債権(単体) (単位：億円)

	2016年3月末	2017年3月末
破綻先債権額	31	22
延滞債権額	1,016	838
3カ月以上延滞債権額	17	13
貸出条件緩和債権額	447	514
合計	1,513	1,389

■リスク管理債権(連結) (単位：億円)

	2016年3月末	2017年3月末
破綻先債権額	27	18
延滞債権額	988	814
3カ月以上延滞債権額	17	13
貸出条件緩和債権額	447	514
合計	1,481	1,362

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、自己査定の破綻先・実質破綻先を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、破綻懸念先を「危険債権」、要管理先のうち3カ月以上延滞債権または貸出条件緩和債権に該当するものを「要管理債権」として開示しています。

■金融再生法開示債権(単体) (単位：億円)

	2016年3月末	2017年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	196	178
危険債権	855	684
要管理債権	465	528
合計	1,517	1,390
正常債権	87,489	92,752

用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

連結財務諸表(要約版)

連結貸借対照表(要約版)

(単位：百万円)

科目	2016年3月末	2017年3月末
(資産の部)		
現金預け金	1,397,413	1,806,514
コールローン及び買入手形	198,378	154,078
買現先勘定	4,999	14,999
買入金銭債権	22,051	21,626
特定取引資産	182,592	129,820
金銭の信託	36,893	28,140
有価証券	2,455,700	2,381,490
貸出金	8,769,113	9,268,854
外国為替	2,596	4,563
その他資産	109,881	144,579
有形固定資産	101,971	101,185
無形固定資産	10,934	10,942
繰延税金資産	5,928	5,326
支払承諾見返	76,214	56,172
貸倒引当金	△ 40,811	△ 32,551
資産の部合計	13,333,858	14,095,743
(負債の部)		
預金	11,127,408	11,550,592
譲渡性預金	359,022	434,192
コールマネー及び売渡手形	134,500	250,000
債券貸借取引受入担保金	191,699	318,992
特定取引負債	22,905	16,474
借入金	268,485	279,442
外国為替	640	692
社債	107,545	117,267
信託勘定借	-	62
その他負債	121,252	108,149
退職給付に係る負債	24,483	22,838
役員退職慰労引当金	166	169
睡眠預金払戻損失引当金	2,275	2,920
ポイント引当金	414	506
特別法上の引当金	27	22
繰延税金負債	19,349	25,765
再評価に係る繰延税金負債	11,069	10,930
支払承諾	76,214	56,172
負債の部合計	12,467,459	13,195,193
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
利益剰余金	524,817	566,050
自己株式	△ 37,480	△ 52,219
株主資本合計	754,540	781,033
その他有価証券評価差額金	103,921	109,427
繰延ヘッジ損益	231	1,510
土地再評価差額金	11,050	10,733
退職給付に係る調整累計額	△ 3,861	△ 2,577
その他の包括利益累計額合計	111,342	119,093
新株予約権	516	423
純資産の部合計	866,398	900,550
負債及び純資産の部合計	13,333,858	14,095,743

連結損益計算書(要約版)

(単位：百万円)

科目	(2015年4月 1日から 2016年3月31日まで)	(2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)
	2016年3月期	2017年3月期
経常収益	228,693	227,811
資金運用収益	138,801	135,533
（うち貸出金利息）	108,853	106,049
（うち有価証券利息配当金）	26,278	25,282
信託報酬	2	2
役務取引等収益	48,433	48,282
特定取引収益	4,681	4,825
その他業務収益	4,242	5,464
その他経常収益	32,531	33,702
経常費用	143,136	150,207
資金調達費用	15,417	16,589
（うち預金利息）	5,076	4,476
役務取引等費用	17,503	17,871
その他業務費用	2,014	4,237
営業経費	87,626	90,368
その他経常費用	20,573	21,141
経常利益	85,556	77,604
特別利益	9	38
固定資産処分益	9	38
特別損失	690	1,036
固定資産処分損	456	765
減損損失	233	270
税金等調整前当期純利益	84,875	76,606
法人税、住民税及び事業税	25,037	20,050
法人税等調整額	4,393	3,826
法人税等合計	29,431	23,876
当期純利益	55,444	52,730
親会社株主に帰属する当期純利益	55,444	52,730

単体財務諸表(要約版)

■貸借対照表(要約版)

(単位：百万円)

科目	2016年3月末	2017年3月末
(資産の部)		
現金預け金	1,393,999	1,802,733
コールローン	198,378	154,078
買現先勘定	4,999	14,999
買入金銭債権	12,501	11,741
特定取引資産	182,419	129,232
金銭の信託	31,393	21,140
有価証券	2,447,857	2,373,637
貸出金	8,797,479	9,305,388
外国為替	2,596	4,563
その他資産	54,027	79,287
有形固定資産	96,934	96,120
無形固定資産	10,729	10,752
前払年金費用	1,070	718
支払承諾見返	61,924	44,988
貸倒引当金	△ 30,464	△ 23,123
資産の部合計	13,265,847	14,026,259
(負債の部)		
預金	11,140,215	11,565,778
譲渡性預金	399,022	478,992
コールマネー	134,500	250,000
債券貸借取引受入担保金	191,699	318,992
特定取引負債	22,905	16,474
借入金	267,573	277,646
外国為替	640	692
社債	107,545	117,267
信託勘定借	-	62
その他負債	73,185	53,245
退職給付引当金	19,320	19,140
睡眠預金払戻損失引当金	2,275	2,920
ポイント引当金	195	268
繰延税金負債	18,594	24,577
再評価に係る繰延税金負債	11,069	10,930
支払承諾	61,924	44,988
負債の部合計	12,450,669	13,181,978
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
資本準備金	122,134	122,134
利益剰余金	477,182	514,303
利益準備金	50,930	50,930
その他利益剰余金	426,252	463,373
固定資産圧縮積立金	85	230
別途積立金	370,971	410,971
繰越利益剰余金	55,195	52,172
自己株式	△ 37,480	△ 52,219
株主資本合計	706,905	729,287
その他有価証券評価差額金	96,475	102,326
繰延ヘッジ損益	231	1,510
土地再評価差額金	11,050	10,733
評価・換算差額等合計	107,757	114,570
新株予約権	516	423
純資産の部合計	815,178	844,280
負債及び純資産の部合計	13,265,847	14,026,259

■損益計算書(要約版)

(単位：百万円)

科目	(2015年4月 1日から 2016年3月31日まで)	(2016年4月 1日から 2017年3月31日まで)
	2016年3月期	2017年3月期
経常収益	205,368	201,230
資金運用収益	140,857	137,720
（うち貸出金利息）	108,658	105,911
（うち有価証券利息配当金）	28,707	27,744
信託報酬	2	2
役務取引等収益	39,052	39,444
特定取引収益	3,276	2,590
その他業務収益	4,233	5,447
その他経常収益	17,946	16,025
経常費用	125,704	131,224
資金調達費用	15,398	16,558
（うち預金利息）	5,077	4,476
役務取引等費用	20,017	20,343
その他業務費用	2,014	4,237
営業経費	81,729	84,483
その他経常費用	6,544	5,602
経常利益	79,664	70,005
特別利益	9	33
固定資産処分益	9	33
特別損失	641	1,034
固定資産処分損	454	763
減損損失	186	270
税引前当期純利益	79,031	69,004
法人税、住民税及び事業税	22,172	17,218
法人税等調整額	4,323	3,167
法人税等合計	26,496	20,385
当期純利益	52,535	48,619

戦略的アライアンスの推進

千葉・武蔵野アライアンス

武蔵野銀行との包括提携「千葉・武蔵野アライアンス」では、地域のお客さまの利便性向上や地域社会のさらなる発展のため、さまざまな施策に協働して取り組んでいます。

千葉・武蔵野アライアンスの主な連携施策

商品・サービスの向上

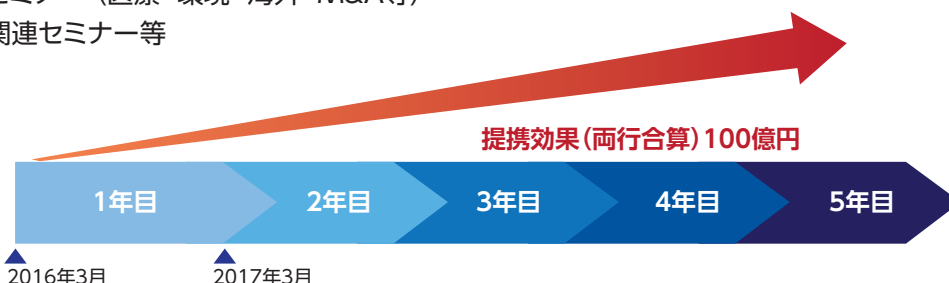
- ・アセットマネジメント(専用商品の組成)
- ・シンジケートローン共同組成、顧客紹介
- ・審査ツール等のノウハウ共有
- ・相続関連業務における提携
- ・証券ビジネスにおける提携

業務効率化

- ・サブシステムの共同化
- ・バックオフィス業務共同化
- ・ノウハウ共有による業務効率化

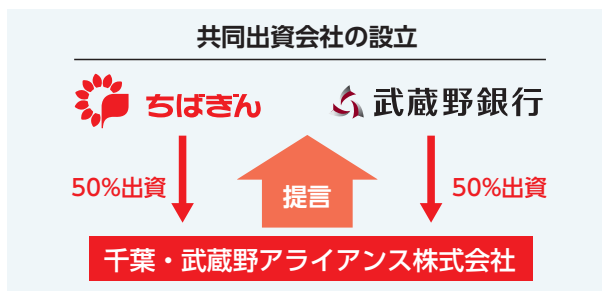
顧客向けセミナー

- ・業種向けセミナー(医療・環境・海外・M&A等)
- ・地方創生関連セミナー等



千葉・武蔵野アライアンス株式会社の設立

2017年4月に両行同額出資による千葉・武蔵野アライアンス株式会社を設立しました。同社をつうじて、「千葉・武蔵野アライアンス」に関する全体方針や戦略、組織横断的な提携施策などを検討し、一層の連携強化を図っております。



「千葉・武蔵野アライアンス 心得」の制定

2017年6月、アライアンスの精神を役職員一人ひとりに徹底し、アライアンスの持続的な発展や両行の目指す姿の実現に向け、心得を制定しました。

「地域のお客さまを第一に」	地域経済の発展やお客さまの課題解決に向けて、あらゆる分野での協業に向けた努力を重ね、地域とともに持続的な成長を続けます。
「信頼」と「尊重」	独立経営のもと互いに尊重し合い、双方のベスト・プラクティスを結集することで、お客さまの期待を超える最高のサービスを提供し続けます。
「スピーディな協業」	常に建設的な議論を続け、できることからスピーディに協業を進めていきます。

TSUBASA金融システム高度化アライアンス

フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究する目的で地銀6行にて発足した「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」(TSUBASAアライアンス)では、地域の枠組みを超えた広域での連携を進めています。

基幹系システムの共同化

当行・第四銀行・中国銀行の3行による基幹系システムの共同化は、2017年5月の中国銀行の新システムの稼働開始をもって完了しました。

また、新たに北洋銀行と共同化の検討を行うことで合意しています。

共同化システム移行状況

■2016年1月 千葉銀行 ■2017年1月 第四銀行 ■2017年5月 中国銀行

■北洋銀行
基幹系システム共同化に関する本格的検討の合意(2017年5月)

相続関連業務における連携

当行はこれまでに培った相続関連業務に関するノウハウを活かし、アライアンス行との提携拡大を推進しています。

2016年10月



第四銀行



中国銀行

2017年6月



すべてを地域のために
東邦銀行



国際業務における連携

2017年4月にTSUBASAアライアンス加盟各行がお客さまの海外ビジネスに対する支援を目的として、セントラル・パシフィック・バンク(米国ハワイ州)と業務提携しました。

経営企画部アライアンス推進室の設置

2017年4月に両アライアンスを一層推進していく観点から、統括部署としてアライアンス推進室を設置しました。

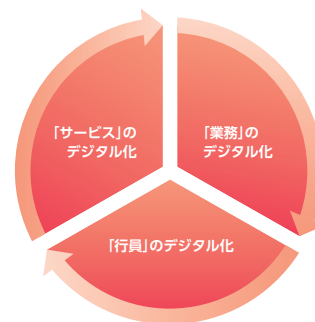
同室では、アライアンス行との連絡調整のほか、連携施策の取りまとめや共同出資会社の運営などを行っています。



TSUBASAアライアンス

デジタルバンキング戦略

当行は、社会全体のデジタル化に対応していくため、人工知能やビッグデータ等の最新技術を取り入れながら、「サービス」「業務」「行員」の3つの視点で「デジタルバンキング戦略」を進めています。

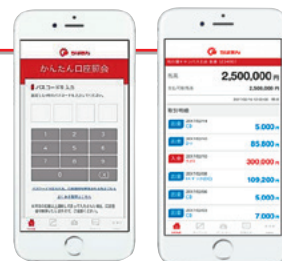


「サービス」のデジタル化

ちばぎんアプリに「かんたん口座照会」機能追加〈2017年3月〉

スマートフォン向け「ちばぎんアプリ」に、4桁のパスコードだけで普通預金口座の残高などを手軽に確認できる「かんたん口座照会」機能を追加しました。

※ご利用は無料です。



ロボ・アドバイザー「ひまりの資産運用シミュレーション」開始〈2017年4月〉

投資に関する簡易な質問への回答からコンピューターがリスク許容度を分析して、最適と思われるポートフォリオ(資産配分)をご提案します。

※ご利用は無料です。



freeとの連携による法人口座開設インターネット受付の開始〈2017年4月〉

インターネットで会社設立に必要な登記書類等の作成から銀行預金口座の開設までを一貫して行うことができるサービスです。



「業務」のデジタル化

次世代営業店モデルの実証実験〈2016年9月～2017年5月〉

真砂支店において、伝票と印鑑で手続きすることを前提としたこれまでの業務を変革し、タブレットやセルフ端末の導入により伝票記入などの負担軽減や手続き時間の短縮を図る「次世代営業店モデル」の実証実験に取り組みました。



人工知能「ワトソン」活用の実証実験〈2016年10月〉

外為業務におけるマニュアルをデータ化して、日本アイ・ビー・エム株式会社の人工知能「ワトソン」に学習させ、職員の照会に最適に回答できる仕組みを構築しました。今後、その他の業務での活用も検討してまいります。



弥生の与信判断AIモデル構築 地銀共同プロジェクトへの参画〈2017年4月〉

会計ソフト大手弥生株式会社の子会社と、人工知能(AI)を活用して小口審査の自動化や精査向上を目指す地銀共同プロジェクトに参画しています。



「行員」のデジタル化

働き方改革推進部新設〈2016年10月〉

職員一人ひとりの働き方を見直し、さらに付加価値の高い業務に特化できる態勢を整備するため、専担部署「働き方改革推進部」を新設いたしました。「環境」「業務」「制度」「意識」の4つの改革をつうじて、社内コミュニケーションの深化や一層のペーパーレス化などを進めてまいります。



トピックス 地方創生 × FinTech/ICT ビジネスコンテストの開催

2017年4月、フィンテックビジネスコンテスト「TSUBASAアライアンス Finovation Challenge」の最終プレゼン大会が行われ、表彰先が決定しました。



Finovation Challengeとは?

地域が抱える様々な課題をフィンテックの活用により解決に結び付けることをテーマとしたTSUBASAアライアンス加盟6行^{※1}とT&Iイノベーションセンター株式会社^{※2}の主催によるビジネスコンテスト。地方企業の新たなビジネスチャンス創出につながるサービスや地域経済の活性化につながるアイデアなど、国内外から110先(119件)の応募があり、書類審査やアイデアプレゼン審査を経て最終プレゼンに6社が進みました。



※1 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行
 ※2 フィンテックに関する調査・研究等を目的としてTSUBASAアライアンス加盟6行と日本アイ・ビー・エム株式会社が共同出資して設立した事業会社。

主催者T&Iイノベーションセンター株式会社メッセージ

我々には思いつかないような素晴らしいアイデアがたくさんありました。このコンテストをきっかけにこれからオープンイノベーションで協業し、地方創生につながる新しいビジネスを一つでも多く実現させていきたいと思えます。



表彰結果

最終プレゼン企業6社のアイデアプランと表彰結果は以下のとおりです。今後、それぞれのプランについて実用化の検討を行っていきます。

	企業名	アイデアプラン
最優秀賞	ゴハンスタンダード株式会社	地域産品の海外販路拡大のためのBtoBマッチングプラットフォーム
優秀賞	株式会社ギフトイ	地域通貨と電子スタンプ決済を組み合わせた「電子地域スタンプ」サービス
	株式会社タグキャスト	レジに接続されている自動釣銭機を活用して現金引出しができる「現金引出しアプリCash atJ」
	株式会社ナイトレイ	訪日外国人・国内旅行者の観光行動データと地方銀行が保有するデータを活用した地域経済活性化策
協賛特別賞	株式会社FP-MYS	将来の相続に備え、家族間で資産情報を共有できるクラウド型遺言サービス
審査員特別賞	株式会社調和技研	人の流れを変えるための興味解析型アプリを活用した地域経済活性化策



地域密着型金融の推進に関する取組み

地域密着型金融の位置付け

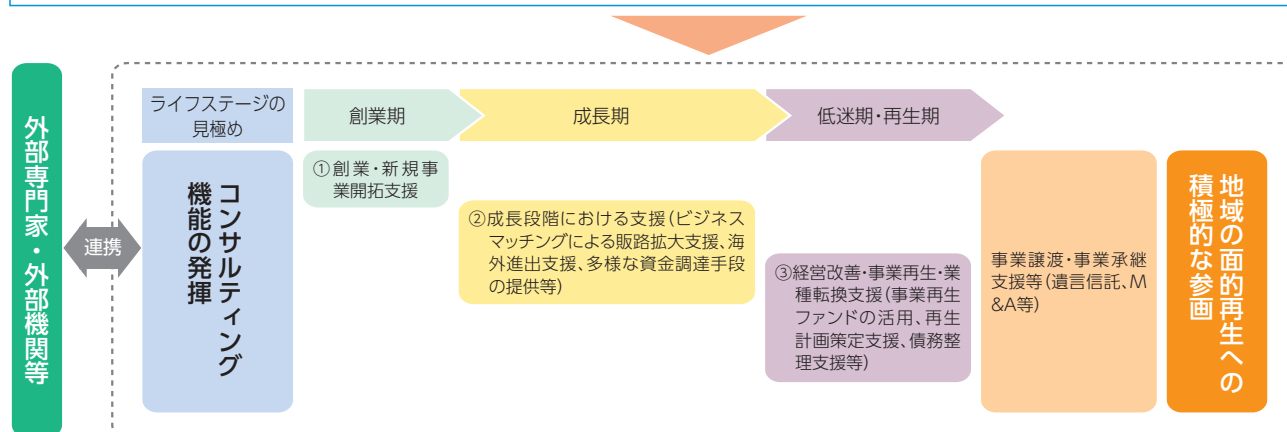
ちばぎんグループは、持続可能な地域社会の実現に向け、本業である金融仲介機能の発揮に加え、社会貢献活動や人材育成の強化により、地域社会を取り巻くさまざまな課題を解決するためのCSR活動に積極的に取り組んでいます。

地域密着型金融の取組みは、CSR活動における「本業」及び「社会貢献活動」につながる重要な活動であり、中期経営計画に掲げた各項目を着実に実践することで、組織的かつ継続的に推進しています。

全体図

中期経営計画

第13次中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage -価値共創の3年」では、「お客さまとの共通価値の創造」を主要課題に掲げ、事業性評価に基づく取引先企業の本業支援や地方創生の取組みを一層強化することで地域密着型金融を実践し、地域の活性化に積極的に貢献してまいります。



地域や利用者に対する積極的な情報発信

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域金融機関として「金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献する」という役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮による地域密着型金融の推進については最も重要な経営課題として位置付けており、今後も各種施策をつうじてこれらを実践し、お客さまの経営支援に積極的に取り組んでまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行では、法人営業部内の「成長ビジネスサポート室」に、医療・介護、農業、観光、環境、国際業務など、成長分野ごとに専門人員を配置し、営業店と一体となって、創業・新規事業の開拓や海外への事業展開など、お客さまの事業の成長をサポートしております。

また、お客さまの経営改善や事業再生を積極的に支援するため、企業サポート部を中心に専門的な知識・ノウハウを有する人員を配置し、営業店への指導を強化しています。さらに、営業店や外部機関等と連携し、お客さまの経営課題や技術力、販売力といった定性的な情報を含む経営実態の十分な把握に努め、最適なソリューションの提案と、ソリューション実行後の経営相談や経営指導を継続的に実施するなど、事業改善、再生支援に向けた適切なフォロー態勢を整備しています。

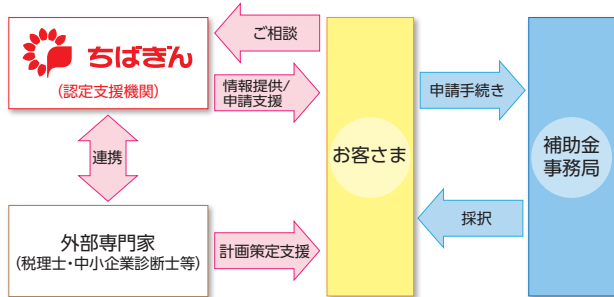
なお、経営改善が必要なお客さまから新規でお借入れのご相談があった場合、新たな収益機会の獲得や中長期的な経費削減等が見込まれ、業況や財務等の改善につながると判断される場合には、適切に新規の信用供与を行うよう努めています。

※お客さまのお借入れに関するご相談を最寄りの営業店でお気軽にご相談いただけるよう、全営業店及び出張所に「金融円滑化相談窓口」を設置しています。

お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮<創業・新規事業支援>

補助金申請サポート

- 2016年度補助金支援実績
 - ・ものづくり補助金：205件
- 補助金申請サポートのイメージ



ひまわりベンチャー育成基金

- ▶助成金の交付(年2回、1企業あたり500万円上限)
- 2016年度実績：10件／2,900万円
- ▶インキュベーション施設入居企業への家賃補助金交付(年2回、1企業あたり月額5万円上限、1年間)
- ▶セミナー、講演会等の開催
- ▶各種相談、指導
- ▶千葉県内の経済産業に関する調査研究、情報提供

創業支援にかかる外部機関との連携

- ▶千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会との連携
 - ・創業者や中小企業者の金融相談等について連携
- ▶千葉県税理士会との連携
 - ・創業者や中小企業者に対する経営相談・計画の策定といった多面的支援を実現するべく連携
- ▶TKC千葉会との連携
 - ・創業者に対して、創業計画の策定支援等を行う税理士をTKC千葉会の会員の中から紹介するスキームで連携
- ▶千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫との連携
 - ・千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫と協調融資を前提として、相互に創業者を紹介するスキームで連携

ちばぎん ものづくり補助金活用セミナー・ものづくり補助金個別相談会

「ものづくり補助金」の活用をテーマとしたセミナーおよび申請書作成のアドバイスを行う個別相談会を開催し、2016年度申請に向けた支援を実施(2016年3月、2016年12月)



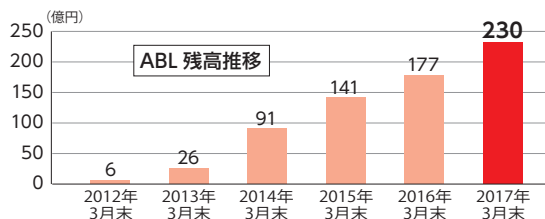
- セミナー参加数：105社／118名(2016年3月のみ)
- 個別相談会参加社数：32社(2016年3月) 27社(2016年12月)

お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮<事業拡大支援>

① 資金調達支援

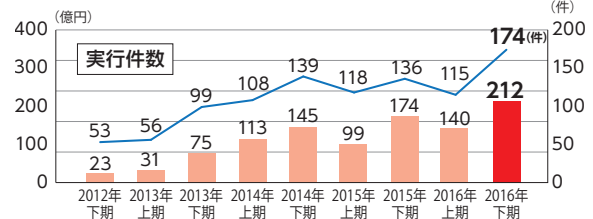
多様な資金調達手段の提供

- ▶ABL(動産担保融資)の取組み



顧客企業の環境への取組みを支援する融資の促進

- ▶太陽光発電事業関連融資実行額実績



千葉県制度融資「動産担保融資制度(ABL)」及び手数料補助制度

- ◆機械設備・車両等を新規購入する際に利用可能
- ◆担保を提供する際の担保評価費用・債務保証料等の手数料を補助
- 2016年度制度融資実行実績：7件／127百万円*
- ※極度扱いは極度額を実行額としています

対象担保	機械設備・車両等 ※リース事業者等(三菱UFJリース(株)、オリックス自動車(株))による担保評価が必要
補助限度額等	【補助限度額】補助対象となる手数料の総額から、融資額×1.15%×融資期間(年)×0.55を控除した額 【補助対象手数料】担保評価手数料、買取(引取)予約手数料、債務保証料、金融機関取扱手数料(ABL手数料等)(司法書士報酬、登録免許税等は補助対象外)

ちばぎん省エネ・ECOセミナー

「省エネ」をつうじたコスト削減手法や、環境・エネルギー政策の最新動向、補助金に関する情報などについて、幅広く情報を提供

- 開催実績累計：8回(2011年度～2016年度)



担保・個人保証に過度に依存しない融資の提供

- ▶ちばぎん知財活用融資制度の活用

■制度概要

株式会社三菱総合研究所の「企業特許レポート」をもとに事業者が保有する特許を評価し、財務諸表には表れない技術力や商品の強み等を融資の判断材料に加えることで、事業者の資金ニーズにお応えする、原則無担保の融資制度

- 2016年度実績

- ・融資実績：12件／262百万円
- ・企業特許レポート作成：9件

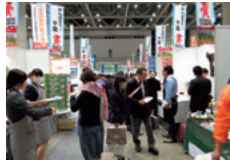
- ▶TSUBASA行連携知財活用ビジネス支援事業の開始(2015年7月) TSUBASAアライアンス参加行等と連携しお客さまの特許情報を共有することで、地域を跨いだ事業拡大、事業創出を支援

② ビジスマッチングによる販路拡大支援

ビジスマッチング商談会



ちばぎんビジスマッチング商談会inウランパトル



地方銀行フードセレクション



JR千葉駅開発プロジェクト
千葉千消合同商談会



ちばぎんアグリ商談会



FOOD EX JAPAN

広域連携

▶顧客紹介等の実施により、地域を超えて活動する企業を支援

■千葉・武蔵野アライアンス



武蔵野銀行

■TSUBASAアライアンス参加行との連携



第四銀行

中国銀行

伊予銀行

東邦銀行

北洋銀行

■地域再生・活性化ネットワークの活用



北海道銀行

七十七銀行

八十二銀行

静岡銀行

京都銀行

広島銀行

伊予銀行

福岡銀行

ひまわりニーズ NAVI (ちばぎん総合研究所)

▶ちばぎん総合研究所の会員様を対象とした無料のビジスマッチングサービス

■会員情報掲載先: 808先
(2017年3月末現在)

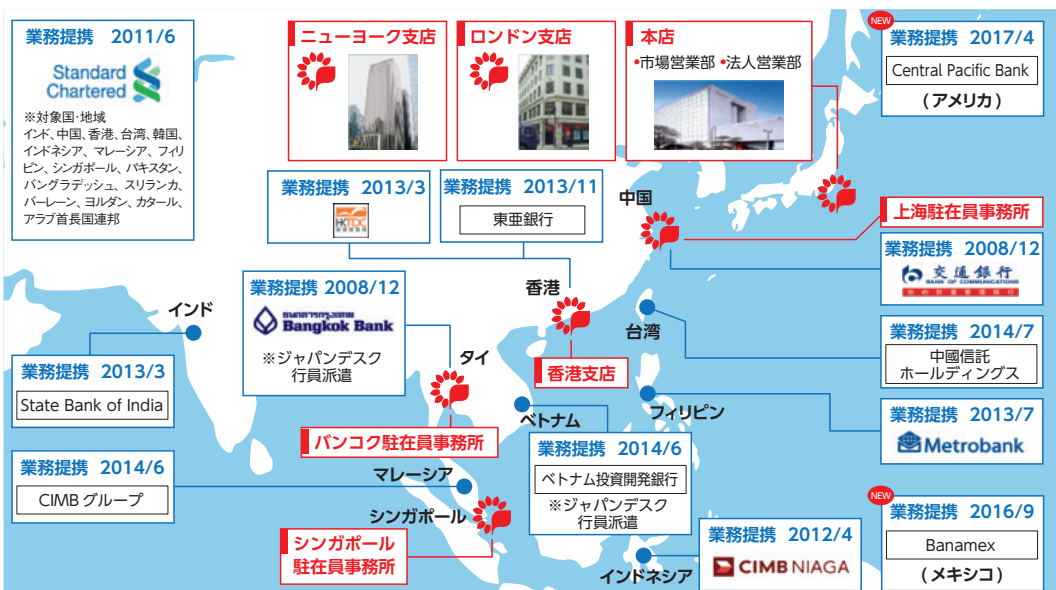
■マッチング成約件数: 40件
(2016年度実績)



ひまわりニーズNAVIホームページ

③ 海外進出・貿易取引支援

海外ネットワークとサポートメニュー



- ▶海外進出支援
 - ・海外の投資環境に関する情報提供
 - ・海外における販路開拓支援
 - ・海外進出先における資金調達
- ▶貿易取引支援
 - ・海外へのご送金、海外からの送金を当行の口座で受取
 - ・輸入信用状の開設、輸入ユーザンス、輸出信用状通知、輸出手形・小切手の取立・買取
 - ・関税支払保証、入札保証、契約履行保証等
 - ・為替リスクヘッジ(為替予約等)

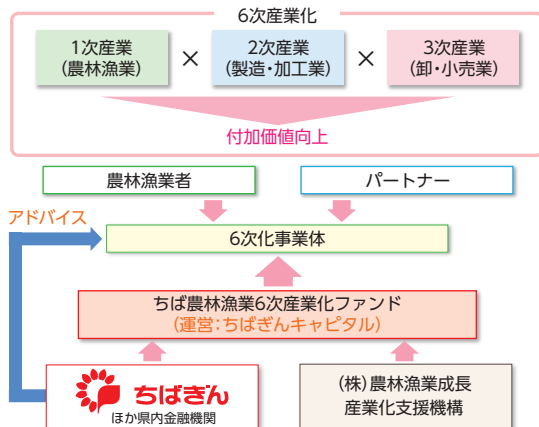
他業態・自治体等との提携
損害保険ジャパン日本興亜(株) (株)日本貿易保険 セコム(株) 興銀リース(株) 香港貿易発展局 メキシコ州政府(4州)
総合警備保障(株) 千葉県・千葉市 日本通運(株) SGホールディングス(株) ジェイ・ウィル・グループ

お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮＜事業拡大支援＞

4 成長分野への取組み

農業

- ▶ちばぎん農機ローン(愛称:幸運機)の活用(2016年1月創設)
- 2016年度実績:3件/8百万円
- ・農業を営む個人のお客様の農機具購入ニーズに対応した融資制度
- ・千葉県農業信用基金協会の保証付き融資
- ・事前審査を行うことにより申込みから3営業日以内に審査回答を行う点が特長
- ▶ちば農林漁業6次産業化ファンドへの出資



※矢印は出資の流れを表しています。

- ・県内農林漁業の6次産業化を後押しするため、(株)農林漁業成長産業化支援機構と設立したファンド
- ・機構設立ファンドの全国第1号投資案件を含め、これまでに5件の6次化事業体に出資

■出資累計:5件/192百万円

医療・介護

- ▶医療機関向けセミナー
- 下記テーマにて3回開催(2016年度)
「2016年度診療報酬改定の影響と医療機関運営」
「『病院の新しい経営改革モデル』
～橋本市市民病院の改革実例にみる具体的手法～」
「改正社会福祉法が与える影響とその対応策」
- ▶グループ会社による支援

ちばぎん 総合研究所	ちばぎん コンピューター サービス	ちばぎんリース
・院内諸規定の作成・整備	・電子カルテ等の導入支援 ・人事給与、原価計算等の各種システム導入支援	・医療機器等のリース

- ▶診療圏分析による開業支援



お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮＜経営改善、事業再生支援＞

主要な計数

項目名		2016年度実績	2015年度実績(ご参考)
正常先を除く期初債務者数	A	11,984先	13,558先
うち経営改善支援取組み先数	α	498先	534先
うち期末に債務者区分がランクアップした先数	β	53先	50先
うち再生計画を作成した先数	γ	464先	465先
経営改善支援取組み率	α/A	4.1%	3.9%
ランクアップ率	β/α	10.6%	9.3%
再生計画策定率	γ/α	93.1%	87.0%

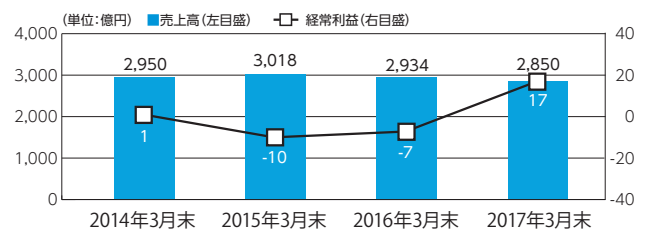
外部機関との連携による経営改善支援

- 2016年度実績
- ・中小企業再生支援協議会等への相談実施:28件
- ・経営改善計画策定支援事業における認定支援機関との連携:39件

抜本的再生手法の活用による事業再生支援

- 2016年度実績
- ・DDSの実行:10先/1,138百万円
- ・債権買取ファンド(東日本大震災事業者再生支援機構)の活用:3先

経営改善支援取組み先*の業績推移



※比較可能な12カ月決算のデータを4期分登録している法人367先が対象

事例紹介(外部機関と連携し抜本的再生支援を含めた計画策定)

業績悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・A社は業歴のある食品製造・販売業者。グループ会社とあわせ20を超える店舗を運営。パートを含め従業員数約1,000名。 ・業績の低迷により資金調達が不調となり、当行主導で中小企業再生支援協議会に申込み。
暫定計画策定 ハズオン支援	<ul style="list-style-type: none"> ・財務を精査した結果、大幅な債務超過に陥っていることが判明。 ・抜本的な再生支援策としてDDSの実行を検討したが、A社の収益力が不透明であったことから、実施を見送り、期間3年間の暫定計画を策定。 ・当行は、計画の実効性を確保するため、ハズオン支援として職員を派遣。
業績改善	<ul style="list-style-type: none"> ・その後、アクションプランの履行等により、収益体質が改善。 ・役員についても、経営責任の観点から役員報酬削減や持株売却を実施。
抜本的再生 支援を含む 計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・今般、中小企業再生支援協議会と連携し、グループ会社を吸収合併したうえで、一体での経営改善計画(本計画)を策定し、取引全行が同意。 ・DDS実行による金融支援を実行すると共に、当行はメインとして新規運転資金を実行。 ・地域を代表する企業の本格的な再生が前進し、あわせて従業員の雇用確保も図られた。

お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮<再チャレンジ支援>

再チャレンジ支援

▶ 経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務の整理等
お客様の再チャレンジを積極的に支援

■2016年度実績(当行メイン先)

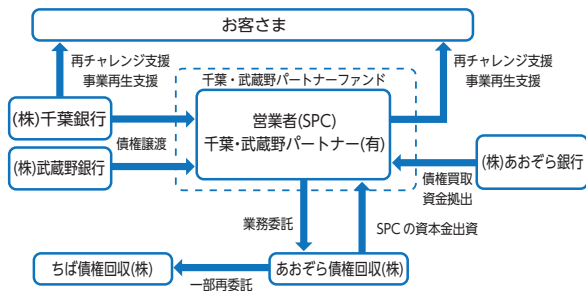
- ・経営者保証に関するガイドラインに基づいた保証債務の整理：2件
- ・(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)の特定支援決定：1件

▶ 「千葉・武蔵野パートナーファンド」の設立

■2016年12月、「千葉・武蔵野アライアンス」に基づく提携施策として両行であおぞら銀行グループと連携し、再チャレンジ支援を含む事業再生ファンドとして設立

■2016年度実績

- ・千葉・武蔵野パートナーファンドの利用決定：1件



▶ 「ちばぎん再挑戦支援融資制度」の取扱い開始

■ 廃業歴等のある法人や経営者の方に再挑戦する機会を提供することを目的に取扱い開始

■2016年度実績

- ・「ちばぎん再挑戦支援融資制度」の実行：1件

対象のお客さま	廃業等を経験した経営者が営む法人等
資金用途	運転資金または設備資金
融資金額	1,000万円以上
融資期間	運転資金5年以内、設備資金10年以内(耐用年数の範囲内) 上記期間とは別に最長3年間の元金返済据置期間の設定が可能
返済方法	元金均等返済
融資利率	当行の所定利率
担保	必要に応じ
保証人	原則、代表者

お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮<事業譲渡・事業承継支援、経営者の方のサポート>

資産承継および事業承継

▶ お客様の人生に深く関わる資産承継や事業承継のご相談に、金融機関としての専門性を活かし親身に対応

資産を大切に守り育てたい…

- 経営会社の分割、株式交換、MBO、M&A、IPO などのご相談と実行の支援
- 不動産に関する有効利用、買い換えなどのご相談*
- 金融資産の信託管理、運用のご案内

資産を円滑に承継したい…

- 経営会社の事業承継プランの立案
- 将来の備えとして遺言信託の活用
- 遺産整理業務を活用した相続手続きの支援

課題を解決したい、想いを実現したい…

- 法務、税務、財務に関するご相談*
- 社会貢献のための寄付、財団設立などのご相談*
- ご息さまの海外留学などのご相談*



*は、千葉銀行が各専門家をご紹介するなかで対応いたします。

■相続関連業務受託による資産承継・事業承継支援(2016年度)

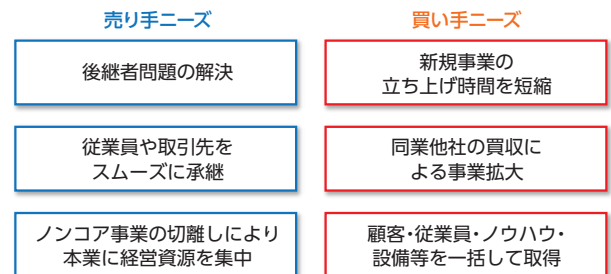
- ・サポートサービス(遺言作成・事業承継): 400件
- ・遺言信託: 346件
- ・遺産整理業務: 121件

■信託機能を活用した新商品による支援(2016年度)

- ・ファミリートラストサポートサービス: 11件
- ・ちばぎん後見制度支援信託: 2件

M&A

▶ 経営上のさまざまなニーズの解決のためのM&A活用をサポート



■2016年度M&A等成約実績

- ・事業拡大支援(買い): 14件*
 - ・後継者不足等の課題解決策として事業譲渡支援(売り): 9件*
 - ・組織再編支援: 1件
- ※上記のうち9件については売主、買主双方に関与

事業性評価への取組み・経営者保証ガイドラインへの対応

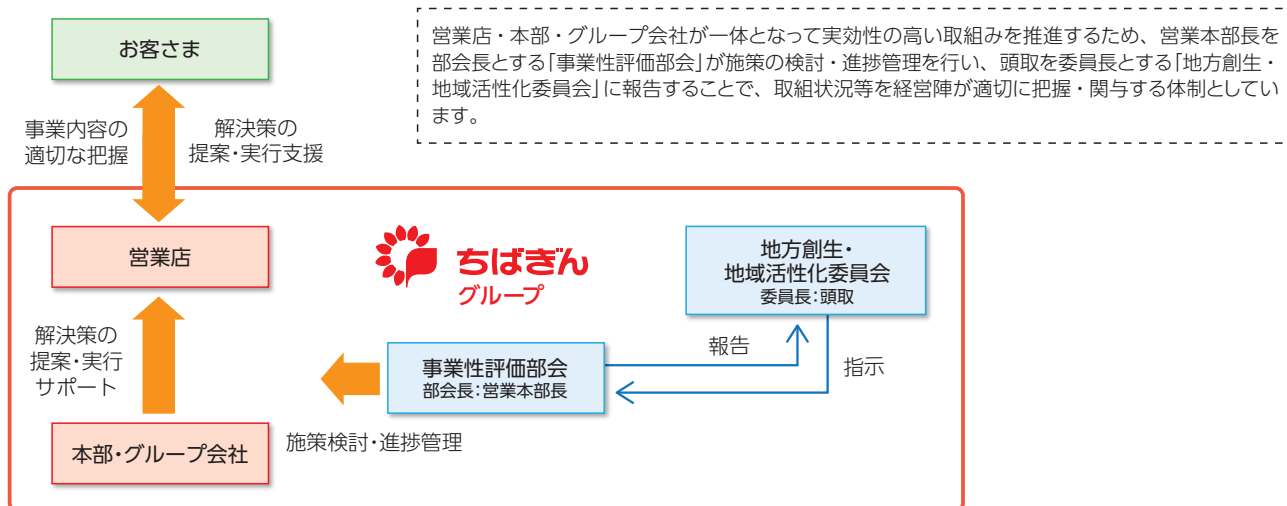
事業性評価及びそれに基づく解決策の提案・実行支援

基本的な考え方

当行は、地域経済の担い手である取引先企業の事業の内容や成長可能性等を評価（事業性評価）し、経営課題に対する適切な解決策を提案・実行支援していく取組みをつうじて、地域経済の持続的成長と地方創生に貢献してまいります。

これを実現するため、深度ある対話をつうじて取引先企業のニーズを具体的に把握し、当行グループが一体となって、経営課題の解決に資する融資やコンサルティングが提供できるよう、人材の育成や態勢の整備に努めています。

推進体制



経営者保証に関するガイドラインへの対応

- 経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおり、新規に無保証で融資した件数は4,303件、代替的な融資手法を活用し無保証で融資した件数は16件となっております。
- 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は13.3%となっております。
- 既存の保証契約の見直しについても、ガイドラインに基づき真摯かつ誠実に対応しており、保証契約を変更した件数は102件、保証契約を解除した件数は381件となっております。
- 個人保証債務を整理する場合においても、ガイドラインに基づき真摯かつ誠実に対応しており、保証債務整理の成立件数は3件となっております。

2016年度実績

項目	件数
① 新規に無保証で融資した件数	4,303件
② 経営者保証の代替的な融資手法を活用し、無保証で融資した件数	16件
③ 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資割合	13.3%
④ 保証契約を変更した件数	102件
⑤ 保証契約を解除した件数	381件
⑥ ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	3件

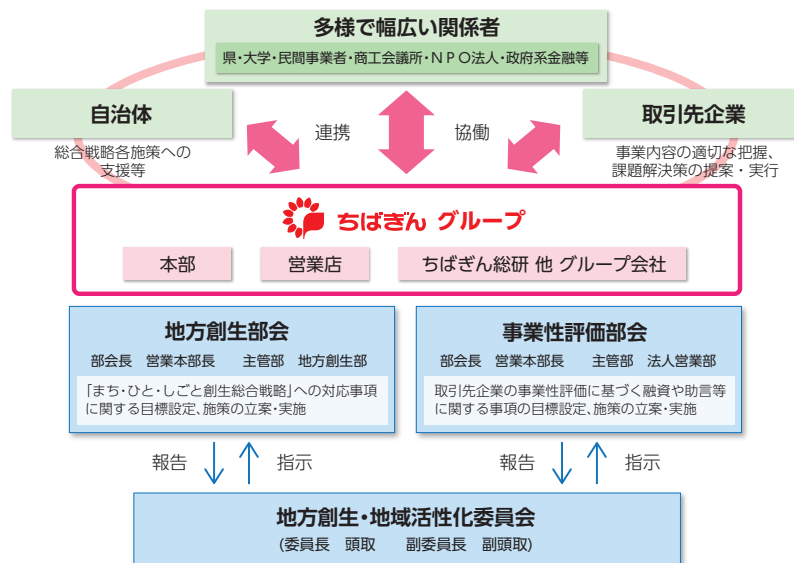
※1 上記の件数は中小企業者に対する取組件数です。

※2 ①は経営者保証の代替的な融資手法を活用し、無保証で融資した件数を除きます。

※3 ②はABL等の経営者保証の代替的な手法を活用し、無保証で融資した件数です。

地方創生に向けた取組み

地方創生の推進態勢



地方創生に資する資金調達支援制度

広域ちば地域活性化ファンド

2015年10月設立

- ▶ 総額：5億円
- ▶ 共同GP：ちばぎんキャピタル・REVICキャピタル
- ▶ 千葉県が有する産業基盤や観光資源、人材といった地域の特性と従来の常識や慣習にとらわれない斬新な発想とを融合した新しい事業モデルを育てていくことを目的

■ 出資累計：3社

地方創生私募債（愛称：みらいはぐくみ債）

取扱期間：2016年6月から9月末 2016年12月から2017年3月末

- ▶ 学校環境の整備等をつうじて地域社会へ貢献していく
- ▶ 当行が私募債の発行企業から受け取る引受手数料の一部で教育関連等の物品を購入し、これを発行企業が指定する学校等に寄贈する制度

■ 2016年度実績：200件／発行額201億円、
寄付額40百万円(寄付予定含む)

ちばぎん地方創生融資制度

2015年11月創設

- ▶ 千葉県または千葉県に隣接する地域において、創業または新規事業を行う事業者を対象

■ 2016年度実績：11社／1,008百万円



● 寄贈品例：楽器、臼・杵、文学書、手引きリアカー、運動マット、集会用テント等

自治体等との連携

連携協定

自治体	千葉市、君津市、南房総市、館山市、鴨川市、鋸南町、勝浦市、銚子市、旭市、富津市、柏市、白井市、匝瑳市、いすみ市、御宿町、茂原市、市川市、流山市、東金市
自治体以外	(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)、千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉県税理士会、木更津工業高等専門学校、千葉商工会議所はじめ県内21商工会議所

※締結日順

地域のブランドデザインづくりに向けた提言



千葉県内の各地域の特性を活かした成長戦略の策定や、今後の地方創生の深化に向けた取組みの方向性について提言
調査：(株)ちばぎん総合研究所
写真右 2016年 続「千葉県創生」戦略プラン
写真左 2015年 「千葉県創生」戦略プラン

地域活性化に向けた取組み

地方創生事業への参画

(株)CHIBAむつざわエナジー※へ出資



※天然ガスや太陽光発電により電力を供給する循環型エネルギー地産地消システムを構築するため、睦沢町により設立された会社

歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進



(株)人と古民家：大多喜町の再生古民家歴史的資源である古民家を活用した事業の支援体制強化に向け、古民家専担者を配置するとともに、古民家活用チームを編成

地方創生関連セミナー

- 続・地方創生セミナー
- 地域包括ケアセミナー
- 移住・定住セミナー
- CCRCセミナー



移住・定住セミナー

空き公共施設等の利活用による地域の課題解決と活性化の推進

千葉県・市町村とも連携し、廃校等の空き公共施設や未利用民間物件への事業者誘致を行うとともに、利用を希望する事業者の事業化支援に積極的に対応



観光用レンタサイクルの寄贈

- 2015年度 館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町(4市町)
- 2016年度 銚子市・香取市・成田市・佐倉市・東庄町・神崎町・酒々井町(7市町)
- 2017年度 勝浦市・山武市・いすみ市・大網白里市・九十九里町・横芝光町・一宮町・長生村・白子町・大多喜町・御宿町(11市町村)

2015年度 南房総地域



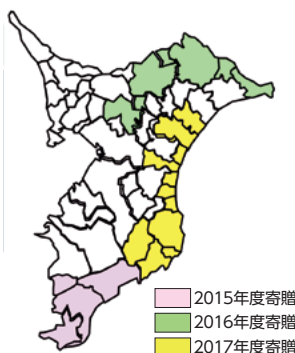
2016年度 北総地域



2017年度 九十九里・外房地域



千葉県の観光振興、ならびに各自治体間の広域連携につなげることを目的に取組みを開始



ローカル鉄道沿線自治体の広域連携事業を支援

- 房総横断鉄道 市原市・大多喜町・いすみ市
- 房総さとやまGO 市原市・君津市



小湊鐵道・いすみ鐵道・JR久留里線等の地域資源を地域活性化につなげる取組みに対して、イベント情報の発信等をつうじた協力を実施

観光・地域資源情報の発信



日本の「山・鉾・屋台行事」がユネスコの無形文化遺産登録されたことを記念し、香取市、秩父市、川越市の各行事を紹介する映像コンテンツを作成し、両行の営業店及び東京営業部 佐原の山車行事 ※県ウェブサイトよりのデジタルサイネージで放映



- ・佐原の山車行事(香取市)
- ・秩父祭の屋台行事と神楽(秩父市)
- ・川越氷川祭の山車行事(川越市)

「お客さま本位」の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する方針

千葉銀行グループは、「お客さま第一主義」という基本原則のもと、お客さまとともに共通価値を創造することで、地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを目指しています。

この一環として、資産運用関連業務におけるお客さま本位の業務運営を強化するため、「『お客さま本位』の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する方針」を策定・公表しました。

この方針のもと、グループ各社^{*}は、お客さま本位の取組みを実践するとともに、その取組状況を定期的に公表し、より良い業務運営の実現に向けて見直しを行います。

※対象となるグループ会社：千葉銀行、ちばぎん証券、ちばぎんアセットマネジメント

千葉銀行グループの方針及び千葉銀行の方針は以下のとおりです。

1. お客さまの最善の利益の追求

高度の専門性と高い職業倫理を持ち、お客さまの最善の利益の実現に向けて、誠実・公正に業務を行ってまいります。

また、お客さま本位の業務運営がグループの企業文化として定着するように取り組みます。

千葉銀行の方針

- ・お客さまの利益を最優先に考え、コンサルティングやアフターフォロー等を通じて、お客さまのニーズにあった最適な商品やサービスをご提案します。
- ・お客さまのニーズにあった最適な商品やサービスをご提案していくため、従業員の研修や勉強会、資格取得の推奨等を通じて、高度な専門知識を有する人材を育成します。
- ・系列の投資運用会社が提供する商品等、特定の商品に偏った販売が行われていないことをはじめ、お客さま本位の提案や販売が適切に行われているかについて、本部によるモニタリングを実施します。

2. 利益相反の適切な管理

グループ内等で発生する利益相反の可能性のある取引を正確に把握し、お客さまの利益が損なわれることがないように適切な管理を実施します。

千葉銀行の方針

- ・グループ内等で発生する利益相反の可能性のある取引をあらかじめ特定・類型化し、本部による取引モニタリング等を通じて、お客さまの利益が損なわれることがないように適切な管理を実施します。

3. 手数料等の明確化

お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用について、その対価となるサービスの内容も含め、お客さまに十分ご理解いただけるように分かりやすく丁寧な説明を行います。

千葉銀行の方針

- ・お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用について、投資がはじめてのお客さまや高齢のお客さま等にも十分ご理解いただけるように目論見書や商品概要書、タブレット端末等を活用し、分かりやすく丁寧な説明を行います。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

お客さまにご理解を深めていただけるように商品やサービスに関する情報提供を充実させるとともに、商品やサービスの販売・推奨等に係る重要な情報については、分かりやすく丁寧な説明を行います。

千葉銀行の方針

- ・お客さまに商品やサービスをご提案する場合は、お客さまとの対話を通じて、お客さまの知識や経験をはじめ、商品の複雑さ等も考慮したうえで、明確、平易で、誤解を招くことのないように誠実に情報提供を行います。
- ・手数料をはじめ、基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件等の重要な情報については、目論見書や商品概要書の他、タブレット端末によるシミュレーションや図表等も活用し、分かりやすく丁寧な説明を行います。
- ・ご提案する商品やサービスがお客さまにふさわしいと判断した理由等について、分かりやすく丁寧に説明します。また、お客さまが他の商品やサービスとの比較検討を容易に行うことができるように手数料や商品特性等の必要な情報をご提供します。
- ・市場動向やお客さまの運用状況等を踏まえ、タイムリーで分かりやすいアフターフォローを実施します。
- ・お客さまの金融リテラシーの向上に資する取組みとして、金融や投資に関するセミナー等を開催し、お客さまに幅広い情報をタイムリーにご提供します。

5. お客さまにふさわしいサービスの提供

コンサルティング等を通じて、お客さまの資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを十分に把握し、お客さまにふさわしい商品・サービスの開発・提供を行います。

千葉銀行の方針

- ・お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じて、適切な商品をお選びいただけるように幅広い商品ラインアップを整備してまいります。
- ・多様な投資運用会社や保険会社等から多くの商品の提案を受け、その特性やリスク等を十分精査したうえで、お客さまの利益に資する商品を選定してまいります。
- ・お客さまの資産・負債の状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズ等をお伺いしたうえで、最適な商品やサービスをご提案します。
- ・特に、投資がはじめてのお客さまや高齢のお客さま等につきましては、ご提案する商品やサービスが適切かどうか、より慎重に判断してまいります。
- ・グループ総合力をもってお客さまのニーズにお応えするため、必要に応じてちばぎん証券とも連携してまいります。
- ・お客さまアンケートの実施等によりお客さまの声を積極的に収集し、その結果を営業態勢の整備や商品ラインアップの充実に活かします。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

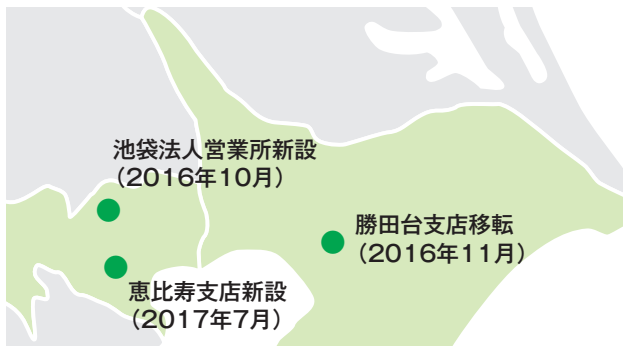
お客さま本位の業務運営を促進するため、業績評価や従業員の研修等、適切な動機づけの枠組みやガバナンス体制を整備します。

千葉銀行の方針

- ・業績評価方法や従業員の研修体系を整備すること等により、お客さま本位の業務運営の促進に向けた従業員への適切な動機づけを行います。

店舗ネットワーク

店舗の新設・移転



戦略的営業地域における店舗新設(恵比寿支店)



テープカットの様子

「恵比寿法人営業所」の業務を承継・拡大し、法人のお客さまだけでなく、個人のお客さまのローンや資産運用のご相談にも対応してまいります。

柏の葉キャンパス支店



通常店舗としては初めてとなる個人のお客さまを対象とした平日の窓口営業時間延長と土日祝日の窓口営業を行っています。平日15時以降と土日祝日は、資産運用や保障性商品・ローン等のご相談にお応えするほか、普通預金の口座開設や各種お届けの受付を行っております。

土・日・祝日も営業!

住所：柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス150街区2 TEL：04-7131-1971

●営業時間：平日9時～17時、土・日・祝日10時～18時 ●営業日：年中無休(12月31日～1月3日および5月3日～5月5日を除く)

※ 平日15時以降及び土・日・祝日は個人のお客さまのご利用に限ります。また、この時間帯は現金のお取扱いがございません。

ちばぎんコンサルティングプラザ

資産運用や保険などをじっくりご相談いただけるよう、個室ブースを設置しているほか、各種セミナーを開催し、最新の金融・経済情報を提供しています。

土・日・祝日も営業!

●営業時間：平日10時～18時、土・日・祝日10時～17時 ●営業日：年中無休(12月31日～1月3日および5月3日～5月5日を除く)

コンサルティングプラザ	住所	TEL
ちばぎんコンサルティングプラザ千葉	千葉市中央区富士見2-3-1	043-227-5211
ちばぎんコンサルティングプラザ柏	柏市柏1-1-21	04-7160-1311
ちばぎんコンサルティングプラザ船橋	船橋市本町7-12-23	047-424-1931
ちばぎんコンサルティングプラザ市川	市川市八幡3-3-2-201	047-321-1001

ちばぎんローンプラザ

住宅ローンをはじめ、ローンに関するさまざまなお相談にお応えし、お客さまのニーズにあった商品をご提案いたします。

土・日・祝日も営業!

●営業時間：平日(水曜日を除く)10時～18時、土・日・祝日10時～17時 ●休業日：毎週水曜日、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日

ローンプラザ	住所	TEL
千葉中央ローンプラザ	千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル2階	043-227-8505
柏ローンプラザ	柏市中央1-1-1 ちばぎん柏ビル5階	04-7163-7111
船橋ローンプラザ	船橋市本町3-3-4(千葉銀行船橋支店2階)	047-424-8726

ちばぎんひまわりラウンジ津田沼



資産運用や保障性商品、住宅ローンなどさまざまなお相談にお応えするほか、普通預金の口座開設や税金・公共料金の現金納付などでもご利用いただけます。

土・日・祝日も営業!

住所：習志野市奏の杜1-1-1 TEL：047-470-5011

●営業時間：10時～18時 ●営業日：年中無休(12月31日～1月3日および5月3日～5月5日を除く)

ちばぎんグループのESGへの取組み

ちばぎんグループでは、ESG(環境・社会・ガバナンス)課題へ積極的に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

Environment ～環境～



環境に配慮した店舗設備

CO₂削減を目指し、新設・移転する店舗では、太陽光発電システムや屋上緑化設備などを導入しており、2017年6月末現在、12店舗に太陽光発電システム、3店舗に屋上緑化設備を設置しています。

また、営業車に燃料電池自動車やハイブリッドカーを導入し、地球温暖化対策を進めています。

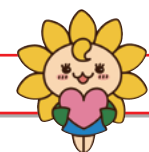


森林整備活動

山武市蓮沼にて、「ちばぎんの森(第4)」森林整備活動を実施しています。この活動は松くい虫や津波の被害により、失われつつある海岸保安林の再生を目的としたもので、これまでの「ちばぎんの森(第1～3)」同様、当行役職員やOB・OGのボランティアにより、定期的に草刈り等の育樹活動を行っています。



Social ～社会～



金融教育への取組み

小中高生や教職員、自治体、異業種企業向けに職場体験の受け入れや出張授業を実施している他、毎年、千葉興業銀行と全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を共催するなど、あらゆる世代にお金の大切さ、金融の仕組みや消費者としての正しい知識を学んでもらうため、金融教育に取り組んでいます。

また、創立70周年を記念して開設した「ちばぎん金融資料室」では、当行と千葉県の金融の歴史がわかる史料展示のほか、お金にまつわる豆知識を楽しみながら学べる体験型展示も行っています。



福祉への取組み

地域の社会福祉活動を支援し、活力のある温かい地域社会を実現するため、千葉県内の社会福祉事業を資金面で助成する「ちばぎんハートフル福祉基金」を設定しています。2016年9月には、11団体に8百万円の助成金を交付しました。

また、障がい者雇用の一層の促進を図るために設立した「ちばぎんハートフル株式会社」は、2017年4月には業務開始10周年を迎え、現在28名の障がいのある方を雇用し、自立を支援しています。





コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当行では、「揺るぎない信頼の確保」、「法令等の徹底した遵守」、「反社会的勢力との関係遮断」、「透明な経営」などからなる「千葉銀行の企業倫理」を全ての企業行動の基本としているほか、2017年度～2019年度を計画期間とする中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage—価値共創の3年」においても、取り組むべき課題として「ESG課題への積極的・能動的な対応」を掲げ、コーポレート・ガバナンスの一層の高度化に取り組んでおります。

これらを遵守・実現し、コーポレート・ガバナンスの一層の強化・充実に努め、多様なステークホルダーとの適切な協働をつうじて持続可能な地域社会の実現に貢献するとともに、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

取締役・取締役会

取締役会は、社外取締役3名を含む12名の取締役で構成され、経営方針やその他重要事項を決定するとともに、取締役及び執行役員の実務執行を監督しています。

また、当行では執行役員制度を導入し、重要事項の決定及び業務執行の監督等を行う取締役と、業務を執行する執行役員とで役割分担を明確にしています。

監査役・監査役会

当行は、5名の監査役のうち過半数の3名を社外監査役とする監査役会設置会社の形態を採用しています。特に社外監査役2名を含む3名の常勤監査役が、取締役会をはじめとする重要会議への出席及び重要書類の閲覧等をつうじ、業務執行状況について客観的・合理的な監査を行っており、当行の経営に対する監督機能を十分に果たしています。

委員会等

重要な経営課題については経営諮問委員会、取締役候補者の選任及び報酬案等については、独立社外取締役が委員の過半数を占める指名諮問委員会、報酬諮問委員会にて審議する体制としています。

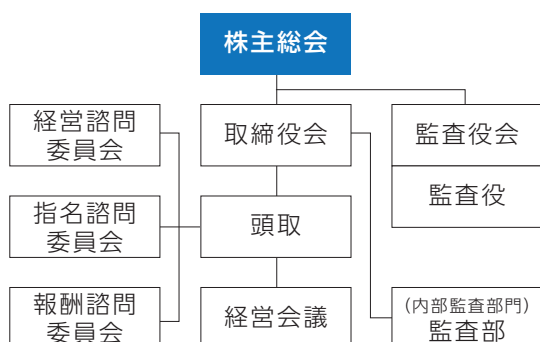
内部監査

被監査部門から独立した内部監査部門である監査部については取締役会が直轄し、「内部監査規程」及び年度毎に取締役会で決定する「内部監査計画」に基づき、本部、営業店及び子会社等の内部監査を実施しています。監査結果、指摘事項等は原則月1回開催される内部監査委員会に報告されるとともに、毎月取締役会に報告されており、コンプライアンス及びリスク管理上の問題点や改善策等の検討が行われています。

グループ管理体制

当行の子会社各社は、当行のコンプライアンス規程、各種リスク管理規程等に準じて諸規程を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正性を確保しています。

コーポレート・ガバナンス体制



組織形態	監査役設置会社
取締役の人数	12名
うち社外取締役の人数	3名
監査役の数	5名
うち社外監査役の数	3名
独立役員の数	6名 [※]

※ 社外取締役3名、社外監査役3名

内部統制システムの整備に係る基本方針

当行は、業務の適正を確保する体制(内部統制システム)の整備に係る基本方針を次のとおり取締役会で定め、本方針に基づき、質の高い経営体制の構築に努めています。

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) 「千葉銀行の企業倫理」や「行動指針」を定めた「コンプライアンス規程」を制定し、役職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を通じ、その徹底を図る。
- (2) 市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力とは断固として対決し、関係を遮断する。
- (3) コンプライアンスに関する重要事項を審議する「コンプライアンス委員会」を設置するとともに、コンプライアンス統括部署を定める等、コンプライアンス体制を整備する。
- (4) コンプライアンス充実のための実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を定期的に策定して、これを実施する。
- (5) 取締役会は、コンプライアンスに関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にコンプライアンスに関する報告を受ける。
- (6) 監査役及び業務執行部門から独立した内部監査部署は、コンプライアンス体制の有効性及び適切性等、コンプライアンスに関する監査を行う。
- (7) 役職員の法令違反等に関する通報を職員等から直接受け付ける内部通報制度を整備し、制度に基づいて通報を行った職員等に不利益な取扱いを行わないようにするなど適切な運用を図る。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報については、法令の定めによるほか、行内規程により議事録・稟議書等の重要な文書等を適切かつ確実に保存・管理し、必要に応じて閲覧可能な状態を維持する。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 「リスク管理の基本方針」及び各種リスク管理規程を定め、各種リスクの管理部署及び当行全体のリスクの統合管理部署を明確にする等、リスク管理体制を整備する。
- (2) 取締役会は、リスク管理に関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にリスク管理に関する報告を受ける。
- (3) 監査役及び内部監査部署は、リスク管理体制の有効性及び適切性等、リスク管理に関する監査を行う。
- (4) 大規模災害、大規模システム障害等、不測の事態を想定した危機管理計画を策定し、必要に応じて訓練を実施する。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会において中期経営計画・営業施策等重要な職務の執行を決定するとともに、その進捗等について報告を受ける。
- (2) 取締役会決議により定める取締役及び執行役員にて構成する「経営会議」において、取締役の職務の執行に関する事項を幅広く協議する。
- (3) 執行役員制度の採用により、意思決定及び取締役の監督機能と、業務執行機能を分離し、意思決定及び業務執行の迅速化・効率化を図る。

- (4) 取締役の職務の執行については、「組織規程」「職務権限規程」「業務分掌規程」等において執行権限・執行手続等を定め、効率的な業務運営を図る。

5. 当行及びその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当行及びその子会社から成る企業集団(以下「当行グループ」という。)における業務の適正を確保するため、当行は子会社各社(以下「各社」という。)に対し、必要に応じて取締役及び監査役を派遣し、一体的な管理体制を整備する。
- (2) 各社は、当行のコンプライアンス規程、各種リスク管理規程等に準じて諸規程を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正を確保する。
- (3) 各社の重要な業務執行にあたっては、当行へ適時・適切に協議・報告を行う体制とするとともに、当行と各社の役員が定期的に意見交換を行い当行グループの経営課題について情報を共有化する。
- (4) 当行及び各社は、相互に不利益を与えないよう銀行法の定めるアームズレングスルールを遵守する。
- (5) 当行及び各社は、財務報告に係る内部統制規程を制定するとともに、内部統制統括部署を定める等、財務報告の信頼性確保のための体制を整備する。

6. 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

- (1) 監査役の指揮命令のもとで監査役の職務を補助すべき使用人として、監査役補助者を任命する。
- (2) 監査役補助者は業務執行に係る役職を兼務しないこととするとともに、人事異動等については、監査役の同意を得ることとし、取締役からの独立性を確保する。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

- (1) 取締役は、当行に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、直ちに監査役会に報告する。
- (2) 前記に関わらず、監査役会は必要に応じて、取締役及び使用人に対して報告を求めることができる。

8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会ほか重要会議への出席、内部監査部署・会計監査人との連携等を通じ、監査役の監査の実効性を確保する。
- (2) 代表取締役は監査役と定期的に意見交換を行い、相互認識と信頼関係を維持する。
- (3) 監査役の職務の執行に必要な費用は、監査役の請求に応じて当行が負担する。

以上

内部統制システムの運用状況の概要

2016年度における当行の業務の適正を確保する体制(内部統制システム)の運用状況の概要は、次のとおりです。

1. 取締役の職務の執行

「定時取締役会」を12回、「臨時取締役会」を4回開催し、中期経営計画の策定など重要な業務執行の決定を行うとともに、取締役の職務執行の監督を適切に行っております。また、社外取締役の知見を活用するため、同取締役3名が委員となっている「経営諮問委員会」を2回開催いたしました。さらに、取締役会において指名された取締役で構成される「経営会議」や、取締役及び執行役員で構成される「業務執行会議」を合計46回開催し、取締役の職務の執行に関する事項を幅広く協議しております。(基本方針1、2、3、4)

2. リスク管理体制

「ALM委員会」を12回、「信用リスク管理委員会」を4回、「オペレーショナル・リスク管理委員会」を4回開催し、リスク毎の対応方針を協議いたしましたほか、四半期毎に「統合的リスク管理の状況」、半期毎に「市場・流動性リスクの状況」、「信用リスクの状況」等を取締役会へ報告いたしました。また、サイバーセキュリティに関する態勢整備を進めたほか、危機的な事態の発生を想定した対策本部立上げ訓練や重要業務取扱訓練等を実施いたしました。(基本方針3(1)、(2)、(4))

3. コンプライアンス体制

「コンプライアンス・プログラム」を取締役会で策定いたしましたほか、「コンプライアンス委員会」を12回開催し、同プログラムの実施状況やコンプライアンス違反に係る真因分析にもとづく再発防止策の検

討などについて、都度審議を行い、重要な事項を取締役会へ報告いたしました。また、内部通報窓口を追加設置し、さらなる態勢強化を進めるとともに、通報者保護ルールを適切に運用いたしました。(基本方針1(1)～(5)、(7))

4. 当行グループにおける業務の適正の確保

各社への取締役及び監査役の派遣、当行の管理部署による各社のコンプライアンスやリスク管理の統括、当行の内部監査部署による各社への内部監査の実施等により、当行グループにおける業務の適正の確保に努めております。また、各社の重要な業務執行について、当行へ適時・適切に協議・報告を受けましたほか、定期的な意見交換を行うなど、各社の管理・支援の強化に取り組みました。(基本方針5)

5. 監査役監査の実効性の確保

監査役会設置会社の形態を採用し、監査役は、取締役会をはじめとする重要会議への出席、重要書類の閲覧、本部・支店への往査、取締役・部長へのヒアリング、グループ監査役会議等を通じ、客観的・合理的な監査を実施いたしました。また、監査役は、代表取締役及び社外取締役と定期的に意見交換を行っております。なお、監査役は、内部監査部署、会計監査人と十分な連携を確保しております。(基本方針1(6)、3(3)、6、7、8)

以上

ダイバーシティの推進

当行は、多様性を認め合い、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できる組織を目指し、ダイバーシティ推進に関する取組みを更に加速させています。



ダイバーシティ推進委員会の活動

2014年7月より、性別に関係なく、意欲・能力のある職員が活躍できる職場を目指し、行内に横断的組織である「ダイバーシティ推進委員会」を設置しています。

本委員会では、行内セミナーの開催やロールモデルの紹介など意識啓発やキャリア形成支援に継続して取り組んでいます。



イクボス[※]の取組み

2015年9月、NPO法人ファザーリング・ジャパンが設立した「イクボス企業同盟」に加入しました。2015年11月には千葉市の呼びかけに応じ、市内企業・団体のトップと共同で「イクボス宣言」に署名しました。

さらに職場への浸透を図るため、管理職を対象としたセミナーを開催するなどイクボス推進に取り組んでいます。



※イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことをいいます。

女性活躍推進法に基づく行動計画を策定

2016年4月、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、女性登用の数値目標達成に向け、女性の職域拡大、キャリア形成支援、働き方改革に取り組んでいます。

男性の育児参加を促す取組み

育児中の部下・同僚への理解や支えあって働く組織風土の醸成を図るため、出産予定の配偶者がいる男性職員が「イクメン」に向けた具体的な行動宣言を策定し、職場全体でこれを応援していく「仕事も育児も!!すてきなパパ宣言」に取り組んでいます。

「輝く女性の活躍を加速するちばのリーダーの会」への参加

2017年6月、千葉県における女性活躍推進の取組みのレベルを引き上げ、その裾野を広げていくため、産・官・学のリーダー7名参加のもと、「輝く女性の活躍を加速するちばのリーダーの会」が発足し、あわせて「行動宣言」を策定・公表いたしました。当行佐久間頭取は発足の呼びかけを行い、「行動宣言」の策定に参画しております。



働き方の見直し

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、「仕組みをカエル、仕事をカエル、意識をカエル」の3つのカエルをキーワードに、現場に応じた業務効率化の取組みを更に強化しており、行内報やビデオニュースで好事例を紹介するなど、銀行全体でこの取組みを進めています。



ダイバーシティ推進に関する各種表彰の受賞歴

2015年12月 内閣府「女性が輝く先進企業表彰」における『内閣総理大臣表彰』

2016年 3月 NPO法人 J-Win「2016 J-Winダイバーシティ・アワード」における『ベーシック アチーブメント準大賞』

2016年 4月 厚生労働省「えるぼし」(最上位)

2017年 3月 厚生労働省「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」における『奨励賞(職業安定局長賞)』

お客さま満足度向上に向けた取組み

お客さま対応の向上に向けた取組み

ご高齢の方やお体の不自由な方を含む全てのお客さまに安心してご利用いただけるよう、お客さま対応の向上に努めています。具体的には、車いすをご利用のお客さまや目の不自由なお客さまをご案内する際の配慮のある対応や、視覚障がい者対応ATMの操作手順等の確認を全店で行っています。



サービス介助士及び認知症サポーターの育成

ご高齢の方やお体の不自由な方に対するおもてなしの心と介助技術を身に付けた「サービス介助士」や、認知症の方やご家族を支援する「認知症サポーター」の育成を行っています。



資格取得者(2017年3月末時点)
サービス介助士:373名
認知症サポーター:3,685名
 ※いずれもパートタイマー含む。

高齢者等見守りネットワーク事業への協力

県内自治体が地域に密着している事業者と連携して、ご高齢の方を地域全体で見守り支えあう「高齢者等見守りネットワーク事業」に参加しています。店内や店舗周辺等でご高齢の方の異変に気付いた場合、速やかに自治体と連絡を取り合い、適切にサポートします。



CS行動基準の制定

CSの更なる向上を図るため、全職員向けのCS行動基準<CSAA(シーサ)>を制定しています。本基準をもとに、常にお客さまの高い期待にお応えする気持ちを持つとともに、おもてなしの心により、お客さまに感動を与えるサービスを提供する姿勢を徹底してまいります。



介助用「車いす」の国内全店設置

介助用の「車いす」を両替出張所等を除く国内全店(169か店)に設置しています。ご利用いただいたお客さまからは「店内をとてもスムーズに移動することができた」等のご好評をいただいています。



AED(自動体外式除細動器)の設置

お客さまが安心してご利用できる店舗づくりを目指し、現在94か店にAEDを設置しています。今後は全店設置に向け、順次設置店を増やしてまいります。



「障害のある人へのやさしい取組み」の認定について

2014年3月、当行の障がいのある方に配慮した取組みが、千葉県より「障害のある人へのやさしい取組み」として認定されました。

今後も、常にお客さまの立場に立ち、ハード・ソフト両面で全てのお客さまに配慮した取組みを進めてまいります。



視覚障がい者対応ATMの全店への設置

千葉銀行では、全てのお客さまに安心してご利用いただける店舗づくりを目指しています。

- 点字ICキャッシュカードの取扱い
- 視覚障がい者対応ATMの全店への設置
- 車いすの全店への設置
- 筆談用ホワイトボード、コミュニケーションボード、助聴器の全店への設置
- CS講習会の実施(手話講座)
- ロールプレイング等をつづじた、職員の対応スキルの向上 等

人材育成の強化

プロフェッショナル人材の育成

高い専門性に加え、広範なビジネススキルを有するプロフェッショナル人材を育成していくため、職員の業務スキルをデータベース化し、一人ひとりのスキルに応じた実践的な研修を実施しています。

加えて、職員の自律的な学習を支援していくため、中堅職員のノウハウを若手職員へ継承する取組みであるブロック勉強会「ちばぎん塾」の開催や、インターネット自宅学習ツールの提供、休日セミナーの開催についても取り組んでいます。

また、専門部署への配置や外部企業、外部セミナーへの派遣等を実施し、高い専門性を持つ人材を育成しています。

若手職員の早期戦力化

集合研修やOJT*など人材教育の充実により、若手職員の早期戦力化に努めるなど、将来の当行を担う人材の育成に注力しています。

特に新入社員には、業務に関する研修のほか、「農業体験」や「工場見学」など、多彩な経験をつうじて、協働意識や規律意識を高めています。

また、若手職員の専門性の早期修得を目的とした育成ガイドラインの明示や習得スキルの「見える化」により、若手職員に一步一步成長していることを実感させることで、成長に向けたモチベーションを高める工夫なども行っております。

※OJT：On the Job Trainingの略。
職場での仕事経験をつうじて業務を習得すること。



農業体験研修

管理職層のマネジメント能力強化

管理職のマネジメント能力を強化し、若手職員等の育成や、組織パフォーマンスの最大化を図るため、管理職の各層を対象にマネジメントに関する研修を実施しています。

支店長に対しては、マネジメント研修のほか、経験豊富な支店長の経験やノウハウを伝授する研修、経営者の思考力の強化をテーマとした研修などを実施し、プログラムの充実を図っています。

多能な人材の育成

職員をトレーニーや視察研修などで積極的に海外に派遣するなど、グローバル化に対応できる人材を育成しているほか、インターンシップとして留学生の受け入れや留学生と相互交流を図る国際交流プログラムを実施しています。

また、新たな発想を生み出す企業風土をつくるため、業種の枠を越えた考え方や業務ノウハウを吸収させる取組みとして、高い専門性を有する外部人材の採用や異業種企業との人材交流などを行っています。



留学生との国際交流プログラム(水郷佐原山車会館)

中高年職員の活躍支援

中高年職員がいきいきと働くことのできるよう、セカンドキャリア研修やカウンセリングなどを実施し、職員の人生設計を継続的にサポートしています。

また、ベテラン職員のスキル・ノウハウを活用するため、さまざまな職務開発にも取り組んでいます。

コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスの徹底と顧客保護等管理態勢の強化に全力を傾けています。

コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスを全ての業務の基本に置き、銀行取引に係るさまざまな法令や、銀行内の諸規程はもちろん、社会生活を営むうえでのあらゆる法令やルールを遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を遂行していくことが重要と考え、全行をあげてコンプライアンス態勢の強化を継続的に行っています。

具体的には、頭取を委員長、複数の取締役・執行役員及び部長を委員とする「コンプライアンス委員会」を定期的で開催し、コンプライアンス徹底のための具体的な実践計画や対応策等の検討を行っています。

「コンプライアンス部」では、コンプライアンス関連規程・マニュアルの管理、研修計画の立案・実施状況の確認、コンプライアンス徹底状況の定期的チェックなどを実施するほか、モニタリング等をつうじた営業店に対するチェック・指導を行っています。

基本方針の徹底

当行は、「千葉銀行の企業倫理」を定め、職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配付し、その徹底を図っています。

コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンス態勢を一層充実させるための具体的な実践計画として、「コンプライアンス・プログラム」を年度毎に取締役会において策定しています。同プログラムの実施状況は、取締役会及びコンプライアンス委員会において定期的に確認しています。

顧客保護・個人情報保護への取り組み

当行は、お客さまの保護と利便性の向上に向けて、全職員に誠実かつ公正な業務活動を行うよう指導・教育しています。特に、元本割れのリスクが内在している金融商品やデリバティブ取引につきましては、

金融商品取引法の遵守に加えて、「千葉銀行の勧誘方針」に則った適切な勧誘・販売を徹底するとともに、お客さまへのアフターフォローの充実を図っています。

お客さまからのご要望や苦情等につきましては、真摯に耳を傾け、万一の紛争等につきましては、金融ADR制度^(※1)の趣旨を踏まえ適切に対応しています。

個人情報^(※2)につきましても、お客さまからお預かりしている大切な財産と考え、「個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言(個人情報保護宣言)」に基づき厳格に管理しています。

(※1) 金融ADR制度とは

金融分野における裁判外の紛争解決手続をいいます。中立・公正な第三者機関の関与により、裁判によらず簡便かつ迅速な紛争解決を図る手続です。当行は法令に基づく指定紛争解決機関である「一般社団法人全国銀行協会」及び「一般社団法人信託協会」と手続実施基本契約を締結しています。

(※2) 個人番号及び個人番号をその内容に含む個人情報である特定個人情報を含みます。

マネー・ローンダリング防止・金融犯罪対策に向けた取組み

当行は、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針」に基づき、マネー・ローンダリング等の防止を徹底しています。また、さまざまな金融犯罪からお客さまを保護するための対策を強化しています。

反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み

当行は、警察当局や弁護士等の外部専門機関と連携し、反社会的勢力からの不当要求や介入その他の不適切な関与等に対して適切に対処する体制としています。

また、各種契約書や預金規定の「暴力団排除条項」を活用し、反社会的勢力との関係遮断に向けた取組みを積極的に進めています。

なお、グループ会社においても反社会的勢力との関係遮断に向けて当行と同様の取組みを進めており、その状況は、当行が統括・管理しています。

千葉銀行の企業倫理

(揺るぎない信頼の確保)

① 千葉銀行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼を確保していくことを宣言する。

(法令やルールなど基本原則の徹底した遵守)

② 千葉銀行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を遂行することを宣言する。

(反社会的勢力との関係遮断)

③ 千葉銀行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力や団体とは断固として対決し、関係遮断を徹底することを宣言する。

(透明な経営)

④ 千葉銀行は、経営情報の積極的かつ公正な開示を図り、透明な経営に徹することを宣言する。

千葉銀行の勧誘方針

当行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼の確保に努めております。また、当行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を実践しております。

当行は、この法令等遵守の姿勢を基本として、金融商品の販売等に係る勧誘に際しましても、次の方針を掲げ、日々の営業活動を実践してまいります。

① お客さまのこれまでの資産運用のご経験、保有されている金融資産などの状況、運用の目的や期間などに照らし、お客さまに適した商品をお勧めいたします。

② お客さまが、商品の内容や内包するリスクなどについて十分ご理解いただいたうえでお取引引きいただけますよう、資産運用のご判断に必要となります事項のご説明や情報のご提供を行います。

③ 事実と異なる情報をご提供したり、商品の価格動向について断定的な判断をお示ししたりするなど、お客さまの誤解を招くような勧誘はいたしません。

④ お客さまのご都合を優先した勧誘を行います。

⑤ お客さまに質の高い金融サービスをご提供できますよう、職員の知識向上のための研修の充実に努めます。

⑥ お客さまからのご要望やご意見には、迅速かつ適切に対応いたします。

個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言

当行は、お客さまの個人情報の取り扱いにあたりましては、個人情報個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、次の方針を掲げ、お客さまの権利利益を保護するために、最善の配慮を行なってまいります。

① 個人情報の保護に関する法令やルールを厳格に遵守し、個人情報の適切な保護と利用を図ります。

② 法令等に特段の定めのある場合を除き、お客さまにお知らせした利用目的の達成に必要な範囲を超

えて、個人情報を利用いたしません。

③ 個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止その他の安全管理のため、必要かつ適切な安全管理措置を講じます。

④ 個人情報保護にかかる態勢を継続的に見直し、適時適切な改善を実施いたします。

⑤ お客さまからの個人情報の取り扱いに関するご意見につきましては、適切かつ迅速に対応いたします。

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針

当行は、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与(以下、これらを「マネー・ローンダリング等」といいます。)の防止について、その重要性を認識し、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な行内態勢を確保してまいります。

① 一元的な管理態勢の構築

マネー・ローンダリング等の防止にかかる責任者・担当者の役割及び責任を明確にし、関係部署の適切な連携のもとで一元的な管理を行います。

② 適切な事務取扱いの確保

取引時確認、資産凍結等の措置に係る確認、疑わ

しい取引の報告等、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な事務取扱いを整備し、確立します。

③ 適切な職員教育の実施

マネー・ローンダリング等の防止に関する研修等の職員教育を継続的に実施し、関係法令及び事務取扱いについて周知徹底を図ります。

④ 有効性の検証

マネー・ローンダリング等の防止に関する取組状況のモニタリングを行い、諸施策の有効性を検証し、管理態勢の充実強化を図ります。

リスク管理体制

当行ではリスクを正確に把握・分析し、管理・運営していくことが極めて重要であると認識し、リスク管理体制の強化・充実に取り組んでいます。

統合的なリスク管理体制

銀行業務には、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクなどさまざまなリスクが存在します。

当行では、収益性を向上させ、かつ経営の健全性を維持していくためには、個々のリスクを別々に管理するだけでなく、これらのリスクを一元的に把握し、銀行全体として許容できる範囲内にコントロールしていくことが必要であると考えています。

そのため、リスク毎にグループ全体のリスクを管理する部署を定めていることに加え、「リスク管理部」がこれらのリスクを一元的に把握し、「ALM委員会」、「信用リスク管理委員会」及び「オペレーショナル・リスク管理委員会」の場できめ細かい管理や検討を行うとともに、リスクの状況について取締役会に報告し対応策を

検討・実施していく統合的なリスク管理体制を構築しています。

また、実効性のあるリスク管理体制を実現するため、リスク管理が適切に行われているかを「監査部」が定期的に監査し、取締役会に報告しています。

統合リスク管理

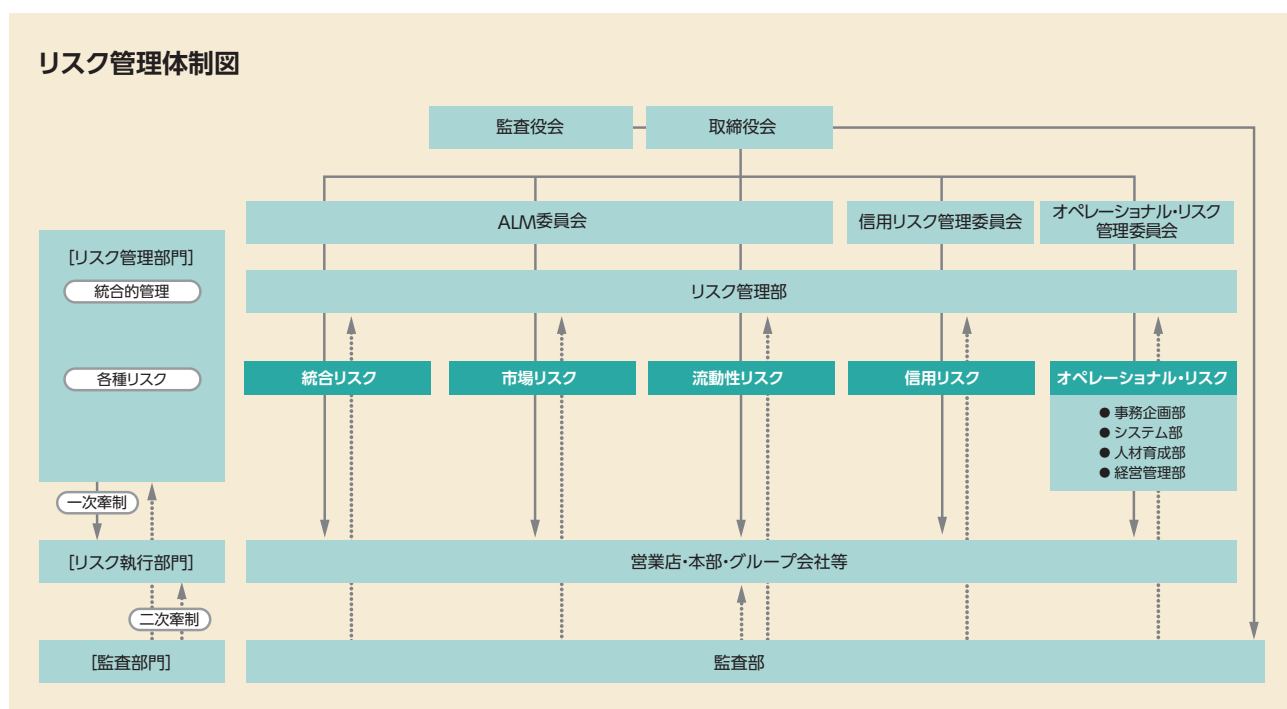
当行では、さまざまなリスクを可能な限り統一的な尺度で統合的に管理していくことを基本としています。統合リスクとは、リスクの計量化による管理が可能な信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを合算したものです。

統合的リスク管理部署である「リスク管理部リスク統括グループ」は、計量化した統合リスクと自己資本との比較を行うことで、リスクに対する自己資本の充実度を検証し、その結果を四半期

毎に取締役会に報告しているほか、ストレス・テストを実施しています。ストレス・テストとは、景気後退期に企業環境が悪化したり土地価格が下落したりなど、一定のストレス・シナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証することです。

また、統合リスク管理の具体的な枠組みとして、「リスク資本配賦制度」を導入しています。「リスク資本配賦制度」とは、経営体力である自己資本の範囲内で国内営業部門・市場部門といった部門別にリスク資本（許容リスク量）をあらかじめ配賦し、健全性の確保を図ったうえで、各部門が収益性の向上や効率的な資本の活用などリスク・リターンを意識した業務運営を行う仕組みのことです。

リスク管理体制図



各部門における現状のリスク資本の使用状況やリスク・リターン実績のモニタリングに加え、今後の環境変化も勘案したシナリオ分析を行っていくという「リスクアペタイト・フレームワーク」を導入・活用し、損失の発生を抑制しています。

信用リスク管理体制

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいい、銀行業務におけるリスクの多くを占めています。

当行では、「内部格付制度」を中心に厳正な信用リスク管理体制を構築し、個別与信管理と与信ポートフォリオ管理を行っています。また、資産の自己査定では、適正な償却・引当を実施するとともに、格付と連動した格付・自己査定システムにより、信用リスク管理の高度化を図っています。

あわせて、信用リスクに係る各部門は独立性を確保しています。具体的には、審査・管理部門が、与信部門（営業店及び営業部門）における個別案件の信用リスクを管理し、審査・管理部門及び与信部門から組織・業務が独立した「リスク管理部信用リスクグループ」が、信用リスク管理部署として信用リスク全体を統括管理します。「リスク管理部リスク統括グループ」は、統合的リスク管理部署として信用リスクを含めたすべ

信用リスク量とは

計量化により算出されるリスク量には、「期待損失」と「非期待損失」があり、「期待損失」は今後1年間に発生すると予想される損失額の平均的な水準を表し、「非期待損失」は今後1年間に予想される期待損失からの最大の振れ幅を表します。一般的に「期待損失」は引当金でカバーすべき部分、「非期待損失」は潜在的損失として自己資本でカバーすべき部分とされています。

てのリスクを統合的に管理し、さらに「監査部」は、監査部署として信用リスク管理に係る各部門の業務を監査します。

また、「信用リスク管理委員会」を定期的で開催し、信用リスク管理方針の検討、「内部格付制度」の運用状況及び与信ポートフォリオのモニタリングなどを行い、貸出資産の健全性確保に努めています。

内部格付制度

当行では、「内部格付制度」により、企業の財務状況、資金繰りなどの財務データを基に、与信先を15区分の格付に分類しています。年1回の定期的な見直しに加え、企業の状況に応じて随時見直すことにより、信用リスク管理の原点である企業の実態把握と審査の充実に努めています。この「内部格付制度」を信用リスク管理の中心に位置付け、貸出金利のプライシングや融資の決裁権限など、実際の管理に幅広く活用しています。

個別与信管理

個別案件の審査は、与信の基本原則（安全性・収益性・流動性・成長性・公共性）のもと、営業

店及び「審査部審査指導グループ」を中心に、審査基準に従った厳正な審査を行っています。また、「企業サポート部経営支援グループ」では経営改善が必要なお客さまの支援を行い、「企業サポート部債権管理グループ」では破綻先などの整理回収活動を行っています。こうした事前の審査及び事後の管理をとおして優良な貸出資産の積み上げと損失の極小化を図っています。

与信ポートフォリオ管理

与信ポートフォリオ管理とは、個別与信が特定の国や業種に集中することなどにより、一時に大きな損失を被るリスクを管理していくものです。「リスク管理部信用リスクグループ」では、国別・業種別・格付別などのさまざまな角度から信用リスクの状況を把握し、与信上限額の設定など必要な対策を講じることにより、与信ポートフォリオの健全性向上に努めています。

与信ポートフォリオ管理においては、信用リスクの計量化に取り組んでいます。信用リスクの計量化とは、信用供与先の倒産や経営状況の悪化などにより発生が見込まれる将来の損失額（リス

リスク管理体制

ク量)を統計的手法により予測することです。当行では、リスク量としてVaR(想定最大損失額)を用い、計測を行っています。また、デフォルト・データやデフォルト先からの貸出金回収データなどの蓄積・整備を進めることで、計量化をより精緻化・高度化し、予測精度の向上を図っています。

さらに、計量結果を貸出金利のプライシングに活用することで、信用リスクを反映した適正な金利水準の確保に努めています。

資産の自己査定

自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することであり、銀行法に基づく「早期是正措置制度」により金融機関に義務付けられています。「早期是正措置制度」とは、金融機関の自己資本比率の状況に応じて行政措置が発動される制度で、正確な自己資本比率算出の

ためには、適正な償却・引当を行い資産内容の実態をできる限り客観的に反映した財務諸表を作成することが前提になります。

当行では、「資産自己査定規程」に基づいて営業店が資産の自己査定を実施し、その内容を審査・管理部門がチェックしています。その後「監査部業務・資産監査グループ」が自己査定結果やプロセスの正確性について、監査を実施しています。また、この結果に基づいて、「リスク管理部信用リスクグループ」が引当額の算定を行い、「企業サポート部債権管理グループ」が償却を実施し、その後「監査部業務・資産監査グループ」が監査を実施しています。このようなプロセスをつうじて当行は資産の健全性を堅持しています。

市場リスク管理体制

市場リスクとは、金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクをい

います。

当行では、市場リスクについてALM管理体制を導入しています。「ALM委員会」を定期的開催し、金利リスク、為替リスク及び価格変動リスクなどについて、きめ細かい対応策を協議・決定し、市場リスク全体のリスク管理を行っています。

具体的には、「リスク資本配賦制度」の一環として、部門毎に配賦されたリスク資本の範囲内で、有価証券投資などの市場性取引や預貸金といった商品毎のVaR(想定最大損失額)に基づく市場リスク量に対し、リスク限度額を設定し管理することで健全性の確保に努めています。また、市場性取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、残高による運用上限枠や評価損益アラームポイントなども設定しており、四半期毎に投資方針を見直すことでリスクのコントロールを行っています。

市場部門の組織については、

市場リスクのVaR(単体)の状況

(単位：百万円)

	バンキング	トレーディング
2016年 3月末	246,267	72
2016年度中の状況		
2016年 6月末	257,199	327
9月末	214,183	43
12月末	156,104	107
2017年 3月末	121,606	38
最大	260,071	959
最小	121,606	24
平均	193,471	280

●VaRの計測手法

モデル : 分散・共分散法
 信頼水準 : 99.9%
 観測期間 : 1年(240営業日)
 保有期間 : バンキングは1年、
 トレーディングは10日

取引執行部署(フロントオフィス:「市場営業部」、海外店)と業務管理部署(バックオフィス:「市場業務部」)を分離し、さらにリスク管理部署(ミドルオフィス:「リスク管理部市場リスクグループ」)を設置することで、相互に牽制する体制をとっています。

流動性リスク管理体制

流動性リスクは、資金繰りリスクと市場流動性リスクからなります。資金繰りリスクとは、金融機関の財務内容の悪化などにより必要な資金が確保できなくなり、資金繰りがつかなくなる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。また、市場流動性リスクとは、市場の混乱などにより市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。

当行では、「市場営業部」が資金繰り管理部署として、マーケット環境の把握、資金の運用調達状況の分析などを行っており、資金繰りリスクに対しては、市場調達額が過大とならないように一定の限度額を設定しているほか、短期間で資金化できる資産を流動性準備として一定水準以上保有するよう定めることなどで、日々適切な資金繰り管理を実施しています。また、市場流動性リスクに対しては、各市場取引に

おけるポジション限度枠の設定により対応しています。

「リスク管理部市場リスクグループ」は、リスク管理部署として、流動性リスクに与えるさまざまな要因を特定・評価するとともに、各種限度枠などの遵守状況についてモニタリングし、流動性リスクの増大を招かないよう努めています。

また、市場リスクと同様に、流動性リスクについても、「ALM委員会」の場で対応策を協議・決定しています。

なお、当行の資金繰りに影響を及ぼすような不測の事態が発生した場合も全行的に速やかに対処できるよう、業務継続計画を制定し、万全を期しています。

オペレーショナル・リスク管理体制

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生し得るリスクのことをいいます。

当行では、オペレーショナル・リスクを、事務リスク(次頁)、システムリスク(次頁)、人的リスク、有形資産リスク、風評リスクに分類しています。人的リスクとは、職場の安全環境や差別行為などに起因して損失が発生するリスクをいい、有形資産リスクとは、建物・設備の毀損などにより損失が発生するリスクをいいます。また、風評リスクとは、評判の悪化など

により信用が低下することから損失が発生するリスクをいいます。

リスク管理体制については、各リスク所管部署(事務リスク:「事務企画部」、システムリスク:「システム部」、人的リスク:「人材育成部」、有形資産リスク:「経営管理部」)を定めるとともに、「リスク管理部リスク統括グループ」をリスク統括部署とし、同グループ統括管理のもと、連携してリスク管理を行っています。なお、風評リスクについては、「リスク管理部リスク統括グループ」が直接管理し、また、各リスクに含まれる法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては、各リスク所管部署と「コンプライアンス部」が連携して管理します。

また、「オペレーショナル・リスク管理委員会」を設置し、経営の直接関与のもと、オペレーショナル・リスク損失事象などに関する報告を受け管理方針を策定し(Plan)、管理規程類に則った実施(Do)、また評価・改善(Check&Action)していくという、「PDCAサイクル」により、問題点の改善・是正を行う管理体制を構築しています。この一連の「PDCAサイクル」による管理の実効性確保のため、当行では、リスクの内容を特定・評価・把握・管理し、かつ削減するための方策を策定して実施するというCSA(Control Self Assessment)を導入しています。CSAによる管理とは、当行で生じたオペレー

リスク管理体制

シヨナル・リスク損失事象に対応するとともに、他行や他業態で発生した損失事象を踏まえて、当行の管理体制で十分かどうかを評価し、必要に応じて対策を打つことで、未然にリスク顕在化を防止するというものです。

事務リスク管理体制

事務リスクとは、正確な事務を怠ったり、事故・不正などを起こす、またはお客さまに対する職務上の義務や説明などを怠ることによって損失を被るリスクです。

お客さまから信用を得るためには正確な事務処理が不可欠と考え、当行では「事務企画部」が中心となり、基本に則った厳正な事務を行い、事故の未然防止に努めています。

具体的には、業務毎に詳細な事務手順を示した事務基準を制定しているほか、現金・手形・通帳など重要物の厳正な取扱いの徹底、営業店や本部の事務管理体制の指導、事務水準向上のための研修を行っています。

また、各営業店で実施している自店検査についても、「事務企画部」がモニタリングや検証を実施することにより、事務の正確性確保と事務水準の向上に努めています。

監査体制としては、「監査部」がすべての営業店及び本部各部・室に原則として年1回以上立ち入り、基準に従って業務全般にわたる厳格な監査を実施しています。これ

らの結果を各営業店、部・室に遅滞なく通知するとともに、取締役会で定期的に報告し、業務改善に反映できる仕組みとしています。

システムリスク管理体制

システムリスクとは、当行が保有している情報の漏洩や改ざん、コンピュータシステムの不正使用や停止・誤作動といった障害などに伴い損失を被るリスクです。

当行は、お客さまのお取引データなどさまざまな情報を保有しており、その情報を処理するためのシステムを構築しています。お客さまにさまざまなサービスを提供していくためにも、銀行業務におけるコンピュータシステムの役割は年々高まっており、システムリスクが顕在化した場合には、お客さまに多大なご迷惑をおかけすることにもなりかねません。このため、システムリスク管理の重要性は、ますます増大しているといえます。

当行では、「システム部」が中心となり、コンピュータシステムの安定稼働のためにさまざまな対策を講じています。具体的には、勘定系・情報系などの基幹システムについてはハードウェアや回線を二重化し、障害時には速やかにもう一方に切り替えて業務を継続できる仕組みとしているほか、各部署が個々に使用しているシステムを含めたすべてのコンピュータシステムについて、データの厳正な管理体制、不正アク

セスやウイルスの侵入防止対策、大規模災害など不測の事態に備えたコンティンジェンシープランを整備しています。

また、サイバーセキュリティについても、お客さまの安心・安全のための取組みを継続して進めています。

監査体制としては、「監査部」がコンピュータシステム全般の監査を実施しています。

業務継続体制

以上のリスク管理体制に加えて、地震等の自然災害やパンデミックといった不測の緊急事態が発生した場合においても、金融システム機能の維持に必要な業務を継続すること、中断を余儀なくされた場合には速やかに復旧することを目的に、「リスク管理部リスク統括グループ」が中心となり、業務継続体制を整備しています。

現在、首都直下地震等の大規模地震の他、複合災害として津波や火山噴火等の多様なリスクへの対策を行うなど、管理態勢の高度化を図っています。

バーゼルⅢへの対応

2013年3月期より、バーゼルⅢによる自己資本比率規制が適用開始となりました。当該規制では、従来のバーゼルⅡに対し、資本算入要件の厳格化・資本控除項目の拡大による自己資本の質の強化や大規模金融機関向け取引・デリバティブ取引に関する

リスクの追加捕捉などの見直し
がなされたほか、自己資本比率
は、総自己資本比率・Tier1比
率・普通株式等Tier1比率・資本
バッファ比率(2016年3月期適
用開始)の4つの比率それぞれで、
規制水準を上回ることが求めら
れます。バーゼルⅢによる自己資
本比率規制は、リスクに対する自
己資本の充実度を計測する最低
所要自己資本比率を「第1の柱」と
し、銀行自身による自己資本戦
略の策定及び監督当局による検
証を「第2の柱」とし、ディスクロー
ジャーの充実をつうじた市場規律

の確保を「第3の柱」とする3つの
柱から構成されます。また、所
要自己資本の計算方法は、リス
ク状況や管理手法に応じて銀
行が選択します。

当行では、「内部管理の高度
化をつうじて業容を拡大する」こ
とを基本方針とし、統合的なリス
ク管理体制高度化の一環として、
バーゼルⅢに対応しています。所
要自己資本の計算では、信用リ
スクについては「基礎的内部格付
手法」、オペレーショナル・リス
クについては「粗利益配分手法」(い
ずれも監督当局による承認が必

要な手法)を採用しており、リス
クをより精緻に自己資本比率に
反映させています。

また、「第3の柱」として、本ディ
スクロージャー誌別冊資料編「財
務データ及び自己資本の充実の
状況等に係る説明資料」に、リス
ク管理の詳細(「内部格付制度」な
ど)を含めた当行の自己資本の充
実の状況を開示しています。

今後、安定調達比率などの新
たな規制の適用が予定されてお
り、これら規制の適用を見据え、
現在、管理体制の整備・強化に
取り組んでいます。

自己資本比率規制(国際統一基準)

自己資本比率は、以下の4つの比率から構成され、それぞれについて、規制水準を上回ることが求められます。

・ 総自己資本比率	$\frac{\text{総自己資本(Tier1+Tier2(劣後債・劣後ローン等))}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5}$	≥8.0%
・ Tier1比率	$\frac{\text{Tier1(普通株式等Tier1+その他Tier1(優先株式等))}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5}$	≥6.0%
・ 普通株式等Tier1比率	$\frac{\text{普通株式等Tier1(普通株式+内部留保等)}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5}$	≥4.5%
・ 資本バッファ比率	$\frac{\text{資本バッファに係る普通株式等Tier1}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5}$	≥2.5% (1.25% ^{*2})

※1 所要自己資本の算出式は、以下のとおりです。

$$\text{所要自己資本} = \text{信用リスク} + \text{マーケット・リスク} + \text{オペレーショナル・リスク}$$

銀行が以下の2つから自ら適する手法を選択します。

- 「標準的手法」 (外部格付を利用し旧規制(バーゼルI)を一部修正した手法)
- 「内部格付手法」 (行内格付を利用して借り手のリスクをより精緻に反映する手法)
 - ・「基礎的内部格付手法」 (デフォルト率を銀行が推計)
 - ・「先進的内部格付手法」 (デフォルト時損失率なども銀行が推計)

事務事故、システム障害、不正行為などで損失が生じるリスクです。銀行が以下の3つから自ら適する手法を選択します。

- 「基礎的手法」 (銀行全体の粗利益を基準に計測する手法)
- 「粗利益配分手法」 (業務毎の粗利益を基準に計測する手法)
- 「先進的計測手法」 (過去の損失実績などを基に計測する手法)

※2 2017年3月期における資本バッファ比率の規制水準は、段階適用により、1.25%です。

レバレッジ比率(国際統一基準)

レバレッジ比率は、以下の計算式により算定され、四半期ごとの開示が求められます。

・ レバレッジ比率	$\frac{\text{Tier1}}{\text{総エクスポージャー(オン・バランス項目+オフ・バランス項目)}}$
-----------	--

主要な業務内容

預金業務

(1) 預金

当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っております。

(2) 譲渡性預金

譲渡可能な預金を取扱っております。

貸出業務

(1) 貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。

(2) 手形・でんさいの割引

銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及びでんさいの割引を取扱っております。

証券業務

(1) 国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売、保護預り・口座管理

(2) 国債等公共債の引受・売買

(3) コマーシャル・ペーパーなどの取扱い

(4) 金融商品仲介業務

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、振込及び代金取立等を取扱っております。

外国為替業務

輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。

社債受託及び発行・支払代理人業務

担保付社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び発行・支払代理人業務に関する業務を行っております。

信託業務及び相続関連業務

信託業務（土地信託・公益信託・特定贈与信託・後見制度支援信託・遺言代用信託）、相続業務（遺言信託・遺産整理業務）及びそれに関連する業務（遺言作成サポートサービス・経営承継サポートサービス・ファミリートラストサポートサービス）を取扱っております。

確定拠出年金運営管理業務

確定拠出年金法における運営管理業務を行っております。

その他の附帯業務

(1) 代理業務

- ①日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店
- ②地方公共団体の公金取扱業務
- ③勤労者退職金共済機構等の代理店業務
- ④株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
- ⑤日本政策金融公庫等の代理貸付業務
- ⑥信託契約代理業務
- ⑦保険代理店業務

(2) 保護預り及び貸金庫業務

(3) 有価証券の貸付

(4) 債務の保証(支払承諾)

(5) 金の売買

(6) 金利、通貨、商品等のデリバティブ取引等

(7) クレジットカード業務

役員及び組織

役員一覧 (2017年6月28日現在)

取締役

取締役頭取 (代表取締役)	佐久間 英 利
取締役副頭取 (代表取締役)	木村 謙 理
取締役専務執行役員	澤井 謙 一
取締役専務執行役員	飯嶋 大 三
取締役常務執行役員	池田 大 行
取締役常務執行役員	菅生 讓 二
取締役常務執行役員	高津 典 生
取締役常務執行役員	稲村 幸 仁
取締役常務執行役員	米本 努 孝
非常勤取締役 (社外取締役)	横田 尤 孝
非常勤取締役 (社外取締役)	田島 島 子
非常勤取締役 (社外取締役)	高山 山 靖 子

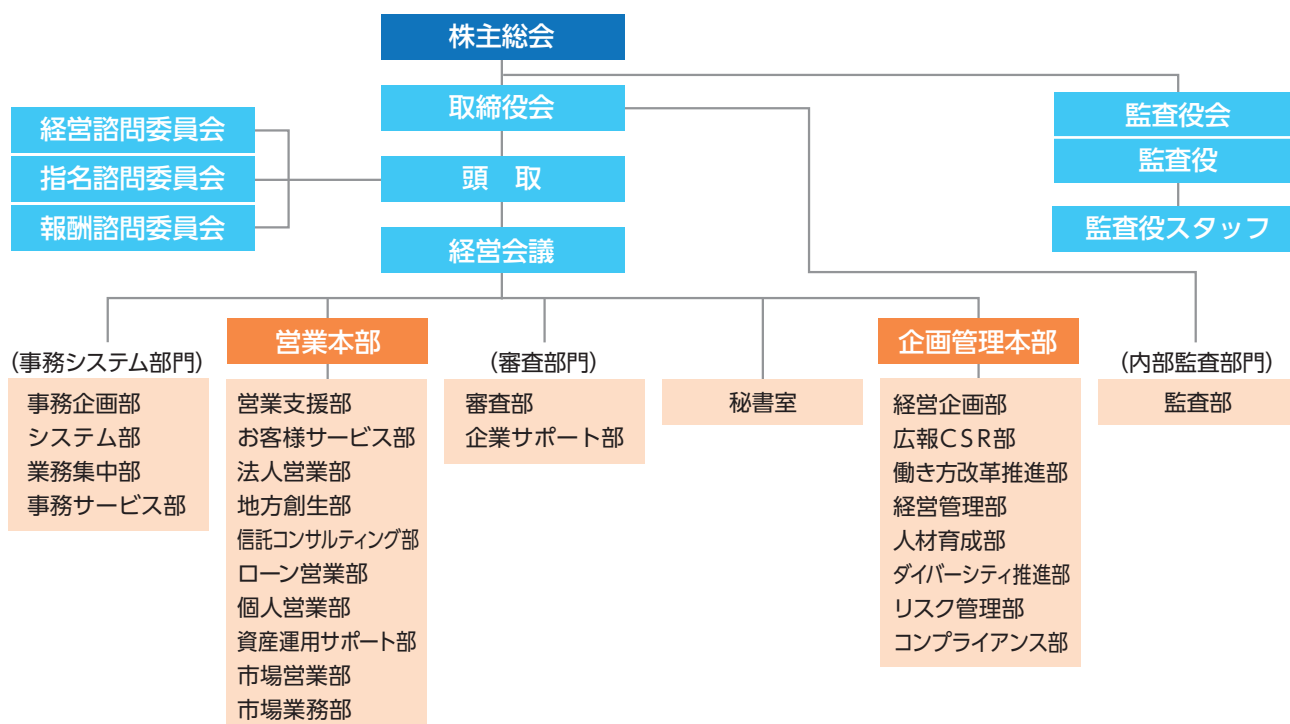
執行役員

常務執行役員 (本店営業部長)	水嶋 和 彦
常務執行役員 (東京営業部長)	佐立 成 信
執行役員 (船橋支店長)	宮内 繁 男
執行役員 (働き方改革推進部長)	石井 俊 一
執行役員 (リスク管理部長)	若林 純 一
執行役員 (監査部長)	真木 也 学
執行役員 (広報CSR部長)	細貝 隆 之
執行役員 (営業本部副担当)	角畑 博 文
執行役員 (経営企画部長)	篠崎 忠 義
執行役員 (人材育成部長)	斎藤 千 草
執行役員 (審査部長)	戸塚 有 彦

監査役

常勤監査役	大久保 壽 一
常勤監査役 (社外監査役)	坂本 友 彦
常勤監査役 (社外監査役)	石原 一 彦
非常勤監査役	福島 一 嘉
非常勤監査役 (社外監査役)	白戸 章 雄

組織図 (2017年6月28日現在)



ネットワーク等のご案内

店舗・キャッシュコーナー一覧 (2017年7月10日現在)

地区	本・支店
県内	160(特別出張所5、出張所14、仮想店舗3)
県外	21(東京都14、大阪府1、埼玉県3、茨城県3)
海外	3(ニューヨーク、香港、ロンドン)
計	184

- 海外駐在員事務所 3(上海、シンガポール、バンコク)
- 兩替出張所 3

千葉県		
千葉市		
【中央区】		
100	本店 [本店営業部]	千葉市中央区千葉港1-2 〒260-0026 (千葉市役所隣) 043-245-1111
055	大宮台支店	千葉市中央区仁戸名町358-12 〒260-0801 (松ヶ丘支店内〈店舗内店舗〉) 043-261-5421
025	京成駅前支店	千葉市中央区中央2-5-1 〒260-0013 (中央支店内〈店舗内店舗〉) 043-222-8111
004	県庁支店	千葉市中央区市場町1-1 〒260-0855 (千葉県庁中庁舎東側2階) 043-227-5361
006	蘇我支店	千葉市中央区南町2-10-10 〒260-0842 (JR蘇我駅前通り) 043-265-2241
026	千葉駅前支店	千葉市中央区富士見2-1-1 〒260-0015 (JR千葉駅正面) 043-227-8501
001	中央支店	千葉市中央区中央2-5-1 〒260-0013 (千葉中央ツインビル2号館) 043-222-8111
	ちばぎんコンサルティング プラザ千葉 (中央支店千葉プラザ出張所)	千葉市中央区富士見2-3-1 〒260-0015 (千葉駅前大通り塚本大千葉ビル) 043-227-5211
005	長洲支店	千葉市中央区長洲1-22-3 〒260-0854 (千葉都市モノレール県庁前駅) 043-227-6421
076	本店営業部 千葉市役所出張所	千葉市中央区千葉港1-1 〒260-0026 (千葉市役所1階) 043-247-0991
034	松ヶ丘支店	千葉市中央区仁戸名町358-12 〒260-0801 (仁戸名局バス停前) 043-261-5421

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イトーヨーカドー蘇我店	店1階
土	井上記念病院	病院1階ロビー
祝	かわまち矢作モール	店入口付近
	がんセンター	千葉県がんセンター前
	県庁本庁舎	本庁舎5階
祝	京成千葉中央駅ビル	フードコート内
祝	JR蘇我駅西口	JR蘇我駅西口
祝	JR千葉駅	ペリエ千葉京成千葉駅側 ※2017年7月31日 営業終了
祝	JR千葉駅西口	JR千葉駅西口改札付近
祝	JR千葉みなと駅	券売機付近
祝	JR本千葉駅前	JR本千葉駅前
	千葉県警察本部	庁舎1階
	千葉市立青葉病院	病院1階ロビー
祝	千葉そごう2号	そごう千葉店オーロラモール4階
祝	千葉そごう3号	そごう千葉店本館8階
祝	千葉大学医学部附属病院	病院1階
祝	千葉都市モノレール千葉駅	千葉都市モノレール千葉駅3階改札前

外国為替のご利用について

- … 貿易取扱店
- … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- 土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

祝	千葉ポートタウン	1階
祝	西千葉	JR西千葉駅北口前
祝	ペリエ千葉	店1階
祝	マルエツ蘇我南町店	店1階
祝	リブレ京成千葉寺店	店1階

【稲毛区】		
003	稲毛支店	千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 〒263-0031 (JR稲毛駅前海側) 043-243-9191
036	稲毛支店 あやめ台特別出張所	千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 〒263-0031 (稲毛支店内〈店舗内店舗〉) 043-243-9191
114	稲毛東口支店	千葉市稲毛区小仲台2-3-12 〒263-0043 (JR稲毛駅東口イオン前) 043-284-8111
063	中央支店 穴川特別出張所	千葉市稲毛区穴川1-18 〒263-0024 (穴川十字路国道126号沿い) 043-255-3811

店舗外キャッシュコーナー		
祝	あやめ台	あやめ台団地内
祝	ヴィルフォーレ稲毛	ヴィルフォーレ稲毛京成バス停前
	千葉大学	総合学生支援センター内
祝	宮野木	京成団地バス停近く

【花見川区】		
047	新検見川支店	千葉市花見川区花園1-7-12 〒262-0025 (JR新検見川駅前通り) 043-271-0131
002	幕張支店	千葉市花見川区幕張町5-470-1 〒262-0032 (JR幕張駅前十字路) 043-273-7111
113	幕張本郷支店	千葉市花見川区幕張本郷1-2-20 〒262-0033 (JR・京成幕張本郷駅前) 043-297-2011

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イトーヨーカドー幕張店	1階入口前
祝	サミットストア花見川店	区役所隣店1階
祝	JR新検見川駅	JR新検見川駅改札前
祝	ナリタヤ花見川店	店入口付近
祝	ライブ宮野木店	県道実羽穴川線沿い店入口付近

【緑区】		
092	鎌取支店	千葉市緑区おゆみ野3-2-9 〒266-0031 (JR鎌取駅前) 043-291-5611
106	とけ支店	千葉市緑区あすみが丘1-20-2 〒267-0066 (JR土気駅前) 043-294-8121
085	誉田支店	千葉市緑区誉田町2-24-18 〒266-0005 (JR誉田駅前) 043-291-0555

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオンおゆみ野ショッピングセンター	商業施設1階
祝	イオン鎌取店	店1階
祝	せんだう土気店	駐車場内
祝	千葉県こども病院	病院前

外国為替のご利用について

- 買 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- 土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

祝	ヤオコーおゆみ野店	しのぼり公園バス停前
[美浜区]		
071	新稲毛支店	千葉市美浜区高洲3-9-2 〒261-0004 (JR稲毛海岸駅前) 043-277-3011
040	本店営業部 幸町特別出張所	千葉市美浜区幸町2-24-27 〒261-0001 (国道14号沿い幸町団地内) 043-241-5335
111	幕張新都心支店	千葉市美浜区中瀬2-6-1 〒261-7102 (ワールドビジネスガーデンマリブアネックス2階) 043-297-7890
065	真砂支店	千葉市美浜区真砂4-1-5 〒261-0011 (JR検見川浜駅前ショッピングセンターPIA 1階) 043-279-8111

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオンモール幕張新都心	グランドモール1階
祝	キッツビル	ビル2階
祝	ちばぎん幕張ビル	ビル1階
祝	千葉市立海浜病院	病院1階ロビー
祝	千葉高洲	高洲第1団地内
祝	パティオス5番街	幕張ベイタウンパティオス5番街
祝	幕張テクノガーデン	B棟2階
祝	マリソピア	JR稲毛海岸駅前マリソピア1階
祝	メッセ・アミューズ・モール	メッセ・アミューズ・モール1階

[若葉区]		
064	千城台支店	千葉市若葉区千城台西1-1-1 〒264-0004 (モノレール千城台北駅前) 043-236-1111
051	都賀支店	千葉市若葉区都賀3-14-3 〒264-0025 (JR・モノレール都賀駅前) 043-232-2551
061	みつわ台支店	千葉市若葉区みつわ台3-11-2 〒264-0032 (モノレールみつわ台駅前) 043-255-3131

店舗外キャッシュコーナー		
祝	大宮台	大宮台団地バス停前
祝	小倉台	モノレール小倉台駅前
祝	桜木町	国道51号沿い市営公園ななめ前
祝	西友都賀店	駐車場内
祝	東寺山ショッピングセンター	ショッピングセンター内
祝	ヤックスケアタウン千城台	店1階
祝	ラパーク千城台	店1階

旭市		
265	旭支店	旭市口827-1 〒289-2516 (塚前十字路) 0479-62-2111

店舗外キャッシュコーナー		
	旭市役所	市役所1階
祝	旭ショッピングセンターサンモール	サンモール1階
祝	旭中央病院	病院1階

我孫子市		
007	我孫子支店	我孫子市本町2-2-16 〒270-1151 (JR我孫子駅前) 04-7182-3111
110	湖北支店	我孫子市湖北台1-18-1 〒270-1132 (JR湖北駅南口) 04-7187-3531
097	天王台支店	我孫子市柴崎台1-9-1 〒270-1176 (JR天王台駅北口) 04-7184-5351

店舗外キャッシュコーナー		
祝	アビィクオーレ	JR我孫子駅前イトーヨーカドー1階

土	我孫子市役所	市役所正面入口横
祝	あびこショッピングプラザ	店3階
祝	布佐	県道千葉電ヶ崎線沿い

いすみ市		
244	大原支店	いすみ市大原8666 〒298-0004 (仲町通り) 0470-62-1211
245	長者支店	いすみ市岬町長者488-1 〒299-4616 (長者本通り) 0470-87-2431

市川市		
011	市川支店	市川市市川11-7-12 〒272-0034 (JR市川駅前) 047-322-0161
089	市川支店 市川市役所出張所	市川市南八幡2-20-2 〒272-0023 (市川市役所 仮本庁舎2階) 047-334-1568
046	行徳支店	市川市行徳駅前2-14-1 〒272-0133 (東西線行徳駅前) 047-397-7111
091	南行徳支店	市川市相之川4-8-5 〒272-0143 (東西線南行徳駅前) 047-358-4001
012	本八幡支店	市川市八幡3-3-2-105 〒272-0021 (グランドターミナルタワー本八幡1・2階) 047-322-0181
	ちばぎんコンサルティング プラザ市川 (本八幡支店市川プラザ出張所)	市川市八幡3-3-2-201 〒272-0021 (グランドターミナルタワー本八幡2階) 047-321-1001
109	本八幡南支店	市川市南八幡4-17-2 〒272-0023 (JR本八幡駅南口駅前通り) 047-377-8751

店舗外キャッシュコーナー		
祝	市川大野駅前ビル	JR市川大野駅前ビル
祝	イオン市川妙典店	1番街1階
祝	北方STハイツビル	鬼越北方税務署通り
祝	京成国府台駅前	京成国府台駅前通り
祝	国分	県道鎌ヶ谷市川線沿い国分小学校近く
祝	JR市川駅	JR市川駅構内キヨスク隣
祝	JR本八幡駅前パティオ	1階入口隣
祝	西友新浜店	店1階
祝	東京歯科大学市川総合病院	病院1階ロビー
祝	ニッケコルトンプラザ	2階シャトルバス乗り場前
祝	若宮	若栄会通り

市原市		
203	姉崎支店	市原市姉崎東3-1-9 〒299-0110 (JR姉ヶ崎駅前) 0436-61-1145
204	牛久支店	市原市牛久1210-1 〒290-0225 (小湊鉄道上総牛久駅前商店街) 0436-92-1211
202	五井支店	市原市五井中央西2-7-1 〒290-0081 (JR五井駅西口前) 0436-21-2141
214	五井支店 市原市役所出張所	市原市国分寺台中央1-1-1 〒290-8501 (市原市役所1階) 0436-21-6611
216	辰巳台支店	市原市辰巳台東1-1-2 〒290-0003 (辰巳台団地内) 0436-74-5551
132	ちはら台支店	市原市ちはら台西5-5-1 〒290-0143 (ちはら台公園向かい) 0436-76-0561

ネットワーク等のご案内

201 八幡支店 市原市八幡1059-22 〒290-0062 (JR八幡宿駅前) 0436-41-1331

店舗外キャッシュコーナー	
祝	アピタ市原店 1階入口
祝	泉台 泉台団地入口
祝	イトーヨーカドー姉崎店 店1階
祝	イトーヨーカドー市原店 店1階
祝	馬立 国道297号線馬立水神橋際
祝	桜台 桜台団地入口Aコープ前
祝	JR姉ヶ崎駅 JR姉ヶ崎駅西口
祝	JR五井駅東口 JR五井駅東口駅前
祝	スーパーたかはし 駐車場内
祝	せんだう五井中央店 店舗内
祝	せんだう国分寺台店 店入口右側
祝	せんだう千原台店 帝京平成短大前
祝	マックスパリュ辰巳台店 店1階
祝	ユニモちはら台 店1階

印西市

285 印西支店 印西市大森3877 〒270-1327 (木下街道沿い) 0476-42-3227

134 印西牧の原支店 印西市牧の原1-3 〒270-1331 (北総線印西牧の原駅前) 0476-47-1901

296 千葉ニュータウン支店 印西市中央南1-5-1 〒270-1340 (北総線千葉ニュータウン中央駅前) 0476-46-1511

店舗外キャッシュコーナー	
祝	イオン千葉ニュータウンショッピングセンター イオン棟1階
	印西市役所 市役所駐車場内
祝	小林 JR小林駅前
祝	千葉ニュータウン中央駅北口 北口ロータリー
祝	ナリタヤ印旛日本医大前店 店1階
祝	日本医科大学付属千葉北総病院 病院1階
祝	牧の原MORE フードコート脇

浦安市

013 浦安支店 浦安市北栄1-16-8 〒279-0002 (東西線浦安駅前) 047-351-2141

072 新浦安支店 浦安市入船1-5-1 〒279-0012 (JR新浦安駅前) 047-354-2011

店舗外キャッシュコーナー	
祝	イクスピアリ 店2階
祝	JR舞浜駅 JR舞浜駅構内
祝	JR舞浜駅2号 JR舞浜駅構内
祝	マルエツ浦安店前 市道大三角線沿いマルエツ前

大網白里市

249 大網支店 大網白里市駒込444-1 〒299-3235 (JR大網駅前通り) 0475-72-1181

店舗外キャッシュコーナー	
	大網白里市役所 市役所入口
祝	大網白里ショッピングセンター センター1階
祝	ベシア大網白里店 店舗入口横

柏市

008 柏支店 柏市中央1-1-1 〒277-0023 (JR柏駅東口・旧水戸街道交差点) 04-7167-0111

081 柏支店柏市役所出張所 柏市柏5-10-1 〒277-0005 (柏市役所第2庁舎2階) 04-7166-5390

ちばぎんコンサルティング プラザ柏 柏市柏1-1-21 〒277-0005 (JR柏駅東口前) 04-7160-1311 (柏支店柏プラザ出張所)

柏支店 柏市中央1-1-1 〒277-0023 (ちばぎん柏ビル5階) 04-7163-7111 柏ローンプラザ出張所

098 柏支店沼南出張所 柏市大津ヶ丘1-56-21 〒277-0921 (柏市沼南庁舎近く) 04-7191-6451

052 柏西口支店 柏市末広町5-19 〒277-0842 (JR柏駅西口交差点) 04-7143-2221

028 柏西口支店 柏市豊四季台1-1-115 〒277-0845 (豊四季台団地・管理事務所前) 04-7143-6161 豊四季特別出張所

122 柏の葉キャンパス支店 柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス 150街区2 〒277-0871 (ららぽーと柏の葉並び) 04-7131-1971

087 花野井支店 柏市花野井681 〒277-0812 (柏市総合卸売市場前) 04-7131-7121

059 増尾支店 柏市加賀3-24-15 〒277-0051 (東武野田線増尾駅前) 04-7174-7111

074 南柏支店 柏市今谷上町45-1 〒277-0074 (JR南柏駅東口・今谷交差点) 04-7173-6111

店舗外キャッシュコーナー	
祝	イオン柏ショッピングセンター 店1階
祝	セレクトショップ青葉台店 北側駐車場
祝	柏駅前 JR柏駅東口前
祝	北柏駅前 JR北柏駅前
祝	セブンパークアリオ柏 店1階
祝	東武ストア新柏店 東武野田線新柏駅前店隣
祝	光ヶ丘 東武光ヶ丘バス停前マツモトキヨシ内
祝	南柏駅西口 JR南柏駅西口
祝	ららぽーと柏の葉 店1階
祝	セレクトショップしいの木台店 駐車場側店入口
	麗澤大学 大学構内研究室棟隣

勝浦市

242 勝浦支店 勝浦市墨名725-3 〒299-5225 (墨名交差点) 0470-73-1121

店舗外キャッシュコーナー	
祝	興津 JR上総興津駅前通り
	国際武道大学 大学構内

香取市

282 小見川支店 香取市小見川1269-5 〒289-0313 (本町通り) 0478-82-2131

283 佐原支店 香取市佐原イ586-5 〒287-0003 (横宿通り) 0478-54-1211

外国為替のご利用について

- 買 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- ± 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

店舗外キャッシュコーナー	
小見川区事務所	区事務所1階ロビー
香取市役所	市役所入口前
祝 サワラシティ	ショッピングモール1階

鎌ヶ谷市

043	鎌ヶ谷支店	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-8-17 〒273-0107 (新鎌ヶ谷Fタワー1・2階)	047-444-2111
-----	-------	--	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオン鎌ヶ谷ショッピングセンター	店1階
	鎌ヶ谷市役所	市役所1階
祝	鎌ヶ谷大仏駅	新京成鎌ヶ谷大仏駅構内
祝	くぬぎ山	新京成くぬぎ山駅西口
祝	東武鎌ヶ谷駅	東武野田線鎌ヶ谷駅西口
祝	馬込沢駅前	東武野田線馬込沢駅東口正面
祝	マツモトキヨシ鎌ヶ谷店	店入口前
祝	鎌ヶ谷中央	鎌ヶ谷中学校通り

鴨川市

231	天津支店	鴨川市横渚943-1 〒296-0001 (鴨川支店内(店舗内店舗))	04-7092-1211
-----	------	--	--------------

229	鴨川支店	鴨川市横渚943-1 〒296-0001 (JR安房鴨川駅前)	04-7092-1211
-----	------	------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	天津	国道128号沿い
祝	鴨川市役所	入口正面
祝	ペイシア鴨川店	正面入口隣

木更津市

205	木更津支店	木更津市大和1-2-4 〒292-0805 (JR木更津駅東口駅前通り)	0438-23-8181
-----	-------	---	--------------

212	木更津東支店	木更津市ほたる野4-4-9 〒292-0038 (アピタ木更津店並び)	0438-98-9701
-----	--------	--	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	アクア木更津	アクア木更津1階
祝	イオンタウン木更津朝日	駐車場内
祝	イオンタウン木更津請西	休憩コーナー内
祝	イオンモール木更津	店1階
祝	いなげや木更津請西店	店舗内入口付近
祝	ひまわり憩いの広場	本町通り(旧木更津支店敷地)
祝	三井アウトレットパーク木更津	総合案内所裏

君津市

213	君津支店	君津市東坂田1-2-13 〒299-1144 (JR君津駅前)	0439-55-2511
-----	------	------------------------------------	--------------

206	久留里支店	君津市久留里市場182 〒292-0421 (仲町通り)	0439-27-2511
-----	-------	---------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	アピタ君津店	店舗入口
祝	いなげや君津店	駐車場入口
	芙蓉会	JR上総松丘駅きよらの樹ヶアセンター前

佐倉市

298	うすい支店	佐倉市王子台1-28-8 〒285-0837 (京成臼井駅前)	043-462-1177
-----	-------	------------------------------------	--------------

287	佐倉支店	佐倉市新町17 〒285-0023 (新町商店街通り)	043-484-2131
-----	------	--------------------------------	--------------

289	志津支店	佐倉市上志津1656-31 〒285-0846 (京成志津駅前通り)	043-487-1231
-----	------	---------------------------------------	--------------

292	ユーカリが丘支店	佐倉市ユーカリが丘3-1-7 〒285-0858 (京成ユーカリが丘駅北口)	043-461-8111
-----	----------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオンタウンユーカリが丘	店1階
祝	いなげや佐倉店	駐車場内
祝	臼井駅北口	京成臼井駅北口ロータリー
祝	佐倉市役所	市役所駐車場内
祝	JR佐倉駅南口	JR佐倉駅南口ロータリー
祝	聖隷佐倉市民病院	病院1階ロビー
祝	トウズ京成佐倉店	駐車場内
±	東邦大学佐倉病院	病院1階ロビー
祝	ユーカリが丘駅南口	スカイプラザステーションタワー2階
祝	レイクピアウスイ	京成臼井駅前イオン1階南側入口
祝	山万ビオトピア・プラザ	1階入口
祝	ヤオコー佐倉染井野店	七井戸公園隣り

山武市

261	成東支店	山武市津辺289-5 〒289-1345 (JR成東駅前通り)	0475-82-2511
-----	------	------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	オライはすめま	道の駅オライはすめまレストラン前
祝	山武市役所	市役所入口
祝	セイミヤ松尾店	駐車場内
祝	ラパーク成東店	店1階
祝	ランドローム山武店	店舗入口横

白井市

083	白井支店	白井市富士50-38 〒270-1432 (木下街道白井開拓バス停前)	047-444-8111
-----	------	--	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	白井市役所	駐車場内

匝瑳市

263	八日市場支店	匝瑳市八日市場イ2470 〒289-2144 (西本町通り)	0479-72-1241
-----	--------	-----------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
	匝瑳市役所	市役所入口

袖ヶ浦市

215	袖ヶ浦支店	袖ヶ浦市福王台1-12-1 〒299-0261 (JR袖ヶ浦駅前福王台入口)	0438-62-8181
-----	-------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
	袖ヶ浦市役所	市役所入口横
祝	長浦駅前	JR長浦駅前通り

ネットワーク等のご案内

館山市

224	館山支店	館山市北条1823 〒294-0045 (銀座通り)	0470-22-4111
225	館山支店 館山南特別出張所	館山市北条1823 〒294-0045 (館山支店内(店舗内店舗))	0470-22-4111
223	那古船形支店	館山市船形285-1 〒294-0056 (JR那古船形駅前県道十字路)	0470-27-3311

店舗外キャッシュコーナー

祝	オドヤスーパーセンター館山店	入口横
	館山市役所	市役所正面入口横
祝	館山南	下町十字路
祝	イオンタウン館山	店1階

銚子市

266	銚子支店	銚子市新生町1-47-1 〒288-0056 (新生通り)	0479-22-2400
-----	------	----------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオンモール銚子	専門店モール1階
	銚子市役所	市役所1階

東金市

250	東金支店	東金市東岩崎15-1 〒283-0068 (JR東金駅東口)	0475-54-1151
-----	------	-----------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	浅井病院	駐車場入口
土	城西国際大学	大学構内学生ホール前
祝	東金サンピア	店2階
	東金市役所	市役所1階
祝	東金レイクサイドビル	スーパーカワグチ隣

富里市

295	富里支店	富里市七栄651-96 〒286-0221 (富里市役所通り)	0476-93-9121
-----	------	------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

	富里市役所	市役所正面入口右側
祝	ナリタヤ富里店	駐車場内

流山市

079	江戸川台支店	流山市江戸川台西2-4-1 〒270-0115 (東武野田線江戸川台駅前)	04-7154-1411
126	流山おおたかの森支店	流山市市野谷665-40 〒270-0137 (東深井市野谷線沿い)	04-7158-2710
049	流山支店	流山市流山2-316-1 〒270-0164 (流鉄流山線流山駅前県道沿い)	04-7158-2511
054	初石支店	流山市西初石3-1447-15 〒270-0121 (東武野田線初石駅前)	04-7153-2111
108	南流山支店	流山市南流山1-8-1 〒270-0163 (JR南流山駅前)	04-7150-2461

店舗外キャッシュコーナー

祝	イトーヨーカドー流山店	流鉄流山線平和台駅前店1階
祝	コープ東深井	流山街道沿い
祝	東武江戸川台駅東口	東武野田線江戸川台駅東口前

祝	流山おおたかの森ショッピングセンター	ショッピングセンター1階
	流山市役所	市役所1階ロビー
祝	マルエツ初石店	東武野田線初石駅近くマルエツ隣

習志野市

	ちばぎんひまわりラウンジ津田沼	習志野市奏の杜1-1-1 〒275-0028 (津田沼駅前支店ひまわり(ユザワヤ隣) ラウンジ津田沼出張所)	047-470-5011
016	津田沼支店	習志野市津田沼5-12-4 〒275-0016 (京成津田沼駅前)	047-452-2111
038	習志野袖ヶ浦支店	習志野市袖ヶ浦3-5-3 〒275-0021 (袖ヶ浦団地入口)	047-452-1261
078	実羽支店	習志野市実羽5-3-27 〒275-0002 (京成実羽駅前通り)	047-478-7171

店舗外キャッシュコーナー

祝	イトーヨーカドー津田沼店	店2階
祝	奏の杜フォルテ	店1階
祝	JR津田沼駅	JR津田沼駅北口広場バス停前
祝	津田沼南	ひまわりラウンジ津田沼内
祝	習志野市役所	市役所グランドフロア階
祝	マックスバリュ東習志野店	店入口付近
祝	谷津	京成谷津駅前

成田市

286	成田支店	成田市花崎町828-50 〒286-0033 (千葉交通駅前ビル1~3階)	0476-22-2511
300	成田空港支店	成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル2階)	0476-33-1421
	成田空港支店 成田空港出張所	成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル1階)	0476-34-6065
	成田空港支店 成田空港第二出張所	成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル3階制限エリア内)	0476-34-6060
	成田空港支店 成田空港第三出張所	成田市三里塚字御料牧場1-1 〒282-0011 (成田国際空港第1旅客ターミナルビル北ウイング4階)	0476-33-2930
290	成田西支店	成田市赤坂2-1-15 〒286-0017 (ボンベルタ百貨店隣)	0476-26-3531

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオンタウン成田富里	店1階
祝	イオン成田ショッピングセンター	専門店モール1階
祝	下総支所	支所駐車場内
祝	イオン成田店	店1階
	大栄支所	支所入口前
祝	成田空港支店内	店内ATMコーナー内
祝	成田支店内	店内ATMコーナー内
祝	成田国際空港第1ターミナル北ウイング	第1ターミナルビル北ウイング1階
祝	成田国際空港第1ターミナル南ウイング	第1ターミナルビル南ウイング4階
祝	成田国際空港第2ターミナル	第2ターミナルビル1階
	成田市役所	市役所1階
祝	成田ユアエルム	店1階
祝	ボンベルタ	店4階
祝	ヨークマート成田店	駐車場内

外国為替のご利用について

- 買 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- ± 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

野田市

075	川間支店	野田市尾崎811-29 〒270-0235 (東武野田線川間駅前)	04-7129-6011
093	関宿支店	野田市東宝珠花545-2 〒270-0226 (いちいのホール入口バス停前)	04-7198-4411
009	野田支店	野田市野田350-11 〒278-0037 (仲町消防会館前)	04-7124-4111

店舗外キャッシュコーナー

祝	いなげや野田みずき店	店舗内
祝	大殿井	電建住宅団地入口
祝	清水公園	東武野田線清水公園駅前
祝	イオンノア店	1階郵便局前
	関宿支所	支所前
	野田市役所	市役所1階
祝	イオンタウン野田七光台	マックスパリュ隣

富津市

209	大佐和支店	富津市大堀1-1-2 〒293-0001 (富津支店内(店舗内店舗))	0439-87-1121
207	富津支店	富津市大堀1-1-2 〒293-0001 (JR青堀駅前通り)	0439-87-1121
211	湊支店	富津市湊212-1 〒299-1607 (湊町バス停前)	0439-67-0611

店舗外キャッシュコーナー

祝	大佐和	大貫若瀬橋際
	富津市役所	市役所1階当行派出隣
祝	イオンモール富津	店3階
祝	富津西部	東町商店街内

船橋市

067	小室支店	船橋市小室町1157 〒270-1471 (北総鉄道小室駅前)	047-457-1111
027	高根台支店	船橋市高根台1-2-1 〒274-0065 (新京成高根公園駅前)	047-466-0121
030	津田沼駅前支店	船橋市前原西2-19-1 〒274-0825 (JR津田沼駅前)	047-472-6141
014	中山支店	船橋市本中山2-19-14 〒273-0035 (JR下総中山駅前十字路口)	047-334-1145
037	習志野台支店	船橋市習志野台3-2-1 〒274-0063 (新京成北習志野駅前)	047-466-6151
029	西船橋支店	船橋市西船4-23-13 〒273-0031 (JR西船橋駅前)	047-434-3311
062	はざま支店	船橋市芝山3-10-7 〒274-0816 (芝山団地内)	047-464-6961
084	二和向台支店	船橋市二和東6-17-37 〒274-0805 (新京成二和向台駅前商店街)	047-449-1111
015	船橋支店	船橋市本町3-3-4 〒273-0005 (本町通り商店街)	047-422-4161
069	船橋支店 船橋市役所出張所	船橋市湊町2-10-25 〒273-0011 (船橋市役所1階)	047-436-2777

058	船橋北口支店	船橋市本町7-12-24 〒273-0005 (JR船橋駅北口駅前通り)	047-424-3151
	ちばぎんコンサルティング プラザ船橋	船橋市本町7-12-23 〒273-0005 (船橋北口支店横) (船橋北口支店船橋プラザ出張所)	047-424-1931
096	薬円台支店	船橋市薬円台6-1-1 〒274-0077 (新京成薬園台駅ビル1階)	047-468-0311

店舗外キャッシュコーナー

祝	イケア船橋	店1階
祝	ウェルシア薬局船橋田喜野井店	店1階
祝	京成船橋駅西口	西口改札前
祝	コープ薬円台	駐車場内
祝	新京成北習志野駅	エキタきたなら2階
祝	新京成習志野駅前	新京成習志野駅前
祝	JR西船橋駅	JR西船橋駅構内武蔵野線通路
祝	高根木戸駅前	新京成高根木戸駅前
祝	滝不動	新京成滝不動駅前
祝	東武新船橋駅	東武新船橋駅東口
祝	東武百貨店船橋店	東武百貨店2階
祝	原木中山駅前	東西線原木中山駅前
祝	東船橋駅前	JR東船橋駅南口ロータリー角
祝	船橋行田	行田団地商店街
	船橋市立医療センター	センター玄関隣
祝	前原	新京成前原駅前
祝	三咲駅	新京成三咲駅前
祝	ゆめまち習志野台モール	店1階
祝	ヨークマート夏見台店	店1階
祝	ららぽーと	ららぽーと内1階

松戸市

102	鎌ヶ谷支店 六美出張所	松戸市六美4-3-1 〒270-2204 (東武野田線六美駅バス停前)	047-386-1175
042	小金原支店	松戸市小金原6-1-1 〒270-0021 (小金原団地・小金原診療所隣)	047-341-4115
101	五香支店	松戸市常盤平5-19-1 〒270-2611 (新京成五香駅西口ビル内)	047-384-2021
066	新松戸支店	松戸市新松戸1-361-2 〒270-0034 (JR新松戸駅前)	047-343-5101
053	高塚支店	松戸市高塚新田158-41 〒270-2222 (高塚入口バス停そば)	047-391-5221
031	常盤平支店	松戸市常盤平1-29-3 〒270-2261 (新京成常盤平駅ビル内)	047-388-1231
010	松戸支店	松戸市本町7-10 〒271-0091 (JR松戸駅西口)	047-364-2101
077	松戸支店 松戸市役所出張所	松戸市根本387-5 〒271-0077 (松戸市役所1階)	047-368-7621
056	松飛台支店	松戸市松飛台192-1 〒270-2214 (松飛台工業団地入口)	047-386-7111
039	馬橋支店	松戸市馬橋107 〒271-0051 (JR馬橋駅前)	047-341-2101
057	矢切支店	松戸市栗山38-1 〒271-0097 (北総線矢切駅近く)	047-365-2181

ネットワーク等のご案内

068 八柱支店 松戸市日暮1-3-1 〒270-2253
(新京成八柱駅・JR新八柱駅前) 047-385-3131

店舗外キャッシュコーナー	
祝	北松戸駅前 JR北松戸駅東口駅前
祝	JR東松戸駅 券売機跡地
	千葉大学園芸学部 緑風会館内
祝	八ヶ崎 あずまバス停前
土	松戸市立病院 病院1階ロビー
祝	松戸東口 JR松戸駅東口前
祝	馬橋駅西口 馬橋駅西口ロータリー前
祝	リブレ京成三矢小台店 駐車場内

南房総市

226 白浜支店 南房総市白浜町白浜2696-1 〒295-0102
(安房白浜バス停前) 0470-38-4111

227 千倉支店 南房総市千倉町北朝夷2798 〒295-0011
(北千倉バス停前) 0470-44-1511

228 和田支店 南房総市和田町和田403-1 〒299-2704
(和田バス停前) 0470-47-3311

店舗外キャッシュコーナー	
祝	朝夷行政センター 庁舎入口付近
	南房総市役所 駐車場内

茂原市

248 茂原支店 茂原市茂原365-1 〒297-0026
(茂原銀座通り) 0475-24-2111

252 茂原東支店 茂原市町保1-10 〒297-0022
(JR茂原駅前) 0475-24-6611

255 茂原南支店 茂原市千代田町2-3-2 〒297-0023
(JR茂原駅南口千代田通り) 0475-22-1855

店舗外キャッシュコーナー	
祝	カインズホーム茂原店 国道128号沿い店入口
祝	イオン茂原店 駐車場側入口横
祝	ホームック茂原店 県道茂原線沿い店入口
祝	茂原市役所 市役所正面ロータリー横
祝	茂原ショッピングプラザ ケーヨーD2入口横

八街市

288 八街支店 八街市八街ほ238-37 〒289-1115
(JR八街駅前通り) 043-443-2011

店舗外キャッシュコーナー	
祝	古谷プラザ 駐車場内
祝	イオン八街店 1階入口前
	八街市役所 市役所駐車場内
祝	ランドマーク八街店 正面入口隣

八千代市

035 大和田支店 八千代市大和田297-20 〒276-0045
(京成大和田駅前通り) 047-484-8111

041 勝田台支店 八千代市勝田台2-4-3 〒276-0023
(京成勝田台駅前十字路) 047-483-1311

112 新八千代支店 八千代市ゆりのき4-1-10 〒276-0042
(東葉高速鉄道八千代中央駅前) 047-486-6111

045 八千代支店 八千代市八千代台東1-1-10 〒276-0032
(コアエルム八千代台1階) 047-483-2211

048 八千代緑が丘支店 八千代市緑が丘1-1-1 〒276-0049
(東葉高速鉄道八千代緑が丘駅前) 047-450-1311

店舗外キャッシュコーナー	
祝	イオン八千代線が丘ショッピングセンター 店1階駐車場脇
祝	イトーヨーカドー八千代店 店1階
祝	京成勝田台駅 駅地下通路売店街内
祝	高津 高津団地ショッピングセンター内
土	東京女子医科大学八千代医療センター 1階ロビー
	八千代市役所 市役所1階入口右
祝	八千代台ビル ちばぎん証券八千代支店1階入口前
祝	八千代台駅西口 八千代台駅西口ロータリー前

四街道市

301 四街道支店 四街道市鹿渡2001-8 〒284-0003
(JR四街道駅前通り) 043-422-1511

135 四街道南支店 四街道市和良比247-1 〒284-0044
(JR四街道駅南口) 043-432-4840

店舗外キャッシュコーナー	
祝	旭ヶ丘 旭ヶ丘商店街
祝	イトーヨーカドー四街道店 店1階
祝	MEGAドン・キホーテ四街道店 1階入口
祝	四街道市役所 市役所入口隣

安房郡

222 鋸南支店 安房郡鋸南町電島847-1 〒299-2118
(JR安房勝山駅前通り) 0470-55-1611

夷隅郡

246 大多喜支店 夷隅郡大多喜町桜台63 〒298-0213
(桜台三ツ角) 0470-82-3111

243 御宿支店 夷隅郡御宿町須賀505-6 〒299-5106
(JR御宿駅前通り交差点) 0470-68-2321

店舗外キャッシュコーナー	
祝	おおたきショッピングプラザ 店1階

印旛郡

293 安食支店 印旛郡栄町安食2170-20 〒270-1516
(「ナリタヤ安食店」敷地内) 0476-95-2111

297 酒々井支店 印旛郡酒々井町中央1-29-7 〒285-0922
(JR酒々井駅西側) 043-496-1221

店舗外キャッシュコーナー	
祝	酒々井プレミアムアウトレット フードコート裏
	酒々井町役場 町役場駐車場入口隣

香取郡

284 神崎支店 香取郡神崎町神崎本宿2065 〒289-0221
(河岸通り) 0478-72-2331

外国為替のご利用について

- 買 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- ± 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

281	香取郡東庄町笹川い679-3 〒289-0601 (東庄交番100m先)	0478-86-1125
買	笹川支店	
264	香取郡多古町多古2703 〒289-2241 (仲町商店街沿い)	0479-76-5111
買	多古支店	
店舗外キャッシュコーナー		
	多古町役場	町役場正面入口前
山武郡		
251	山武郡九十九里町片貝3516-1 〒283-0104 (西の下)	0475-76-4171
買	九十九里支店	
262	山武郡横芝光町横芝1339 〒289-1732 (JR横芝駅前通り)	0479-82-1221
買現	横芝支店	
店舗外キャッシュコーナー		
	九十九里町役場	町役場入口
祝	芝山町役場	町役場入口
祝	横芝光町役場	役場庁舎前
長生郡		
247	長生郡一宮町一宮2956-1 〒299-4301 (国道128号沿い(別称犬通り))	0475-42-3611
買	一宮支店	
店舗外キャッシュコーナー		
祝	一宮町役場	町役場南側
東京都		
017	千代田区岩本町3-10-1 〒101-0032 (岩本町交差点)	03-3863-2151
買現	秋葉原支店	
139	港区港南2-16-2 〒108-0075 (太陽生命品川ビル20階)	03-5783-3911
買	品川支店	
120	江戸川区中葛西5-34-13 〒134-0083 (東京メトロ東西線葛西駅前)	03-5675-4021
買現	葛西支店	
024	葛飾区金町6-2-1 〒125-0042 (ヴィナシス金町1階)	03-3607-4121
買	金町支店	
032	墨田区江東橋2-13-7 〒130-0022 (国道14号沿い)	03-3633-7011
買	錦糸町支店	
023	葛飾区新小岩1-53-10 〒124-0024 (朝日生命新小岩ビル2階)	03-5662-9481
買	小岩支店	
115	江戸川区篠崎町7-27-23 〒133-0061 (都営新宿線篠崎駅前)	03-5243-1501
買	篠崎支店	
020	新宿区西新宿2-4-1 〒163-0802 (新宿NSビル2階)	03-3344-1661
買	新宿支店	
	新宿支店 池袋法人営業所出張所	豊島区南池袋2-29-12 〒171-0022 (HF池袋ビルディング3階) 03-5957-0857
140	渋谷区広尾1-1-39 〒150-0012 (恵比寿プライムスクエアタワー10階)	03-3400-1110
買	恵比寿支店	
123	足立区千住1-4-1 〒120-0034 (東京芸術センター1階)	03-5284-1051
買	千住支店	

018	中央区日本橋室町1-5-5 〒103-0022 (室町ちばぎん三井ビルディング(COREDO室町3)1・5階)	03-3270-8351
買	東京営業部	
124	江東区富岡2-1-9 〒135-0047 (永代通り沿いHF門前仲町ビルディング2階)	03-5639-2451
買	深川支店	
107	江戸川区南篠崎町2-10-7 〒133-0065 (都営新宿線瑞江駅前通り)	03-3698-8561
買	みずえ支店	
店舗外キャッシュコーナー		
祝	JR小岩駅南口	小岩駅南口サンロード沿い
祝	都営地下鉄船堀駅	都営地下鉄新宿線船堀駅改札前
祝	ららぽーと豊洲	センターポート1階
大阪府		
401	大阪市中央区淡路町3-6-3 〒541-0047 (御堂筋MTRビル)	06-6231-0321
買	大阪支店	
埼玉県		
125	越谷市レイクタウン8-4-3 〒343-0828 (JR越谷レイクタウン駅北口ロータリー)	048-961-2101
買	越谷レイクタウン支店	
133	三郷市中央3-4-12 〒341-0038 (つくばエクスプレス三郷中央駅北側)	048-953-8911
買	三郷中央支店	
121	八潮市大瀬1-2-8 〒340-0822 (つくばエクスプレス八潮駅前ロータリー)	048-994-4370
買現	八潮駅前支店	
茨城県		
128	神栖市神栖1-16-30 〒314-0143 (国道124号線沿い鹿島セントラルホテル向かい)	0299-95-5251
買現	神栖支店	
136	つくば市研究学園5-17-3 〒305-0817 (イースつくば前)	029-858-4501
買	つくば支店	
131	守谷市中央1-23-9 〒302-0115 (つくばエクスプレス守谷駅中央西口ロータリー前)	0297-46-1101
買現	守谷支店	
海外支店		
451	ニューヨーク支店 1133 Avenue of the Americas, 15th Floor, New York, N.Y.10036, U.S.A.	TEL: 1-212-354-7777
452	香港支店 Unit 2510, One Pacific Place, 88 Queensway, Hong Kong	TEL: 852-2840-1222
454	ロンドン支店 3rd Floor, Regina House, 1 Queen Street, London EC4N 1SW, The United Kingdom	TEL: 44-20-7315-3111
海外駐在員事務所		
上海駐在員事務所 中華人民共和国 上海市延安西路2201號 上海国際貿易中心 707室		TEL: 86-21-62780482
シンガポール駐在員事務所 50 Raffles Place, #10-06 Singapore Land Tower, Singapore 048623		TEL: 65-6438-4525
バンコク駐在員事務所 No.98 Sathorn Square Office Tower, 20th Floor, room 2008, North Sathorn Road, Silom, Bangrak, Bangkok, 10500, Thailand		TEL: 66-2-163-2723

インターネット専用支店として「インターネット支店」、振込専用支店として「ひまわり第一支店」「ひまわり第二支店」があります。

ネットワーク等のご案内

主な手数料一覧 (2017年7月1日現在)

ATM利用手数料

下記手数料には、消費税相当額が含まれています。

1) 当行ATM・CD

		0:00	8:00	8:45	9:00	14:00	18:00	21:00	23:00	
当行カードによる 引出、振込、税金・各種料金払込	平日		108円	無料			108円			
	土曜・祝日		108円							
	日曜		108円							
提携カードによる引出、振込	平日		216円	108円			216円			
	土曜・日曜・祝日		216円							
	平日		216円	108円			216円			
ゆうちょ銀行カードによる引出	平日		216円	108円			216円			
	土曜		216円	108円			216円			
	日曜・祝日		216円							

*店舗によりご利用時間が異なります。*振込には別途振込手数料が必要となります。*引出にはカードローンの利用を含みます。
*常陽銀行、横浜銀行、東京都民銀行、武蔵野銀行、筑波銀行、山梨中央銀行、東邦銀行をご利用の場合の手数料は、当行カードをご利用の場合と同一となります。

2) コンビニATM(E-net ATM・ローソンATM・セブン銀行ATM)

		0:00	8:45	18:00	21:00	24:00	
当行カードによる 引出・預入・振込	平日		216円	108円		216円	
	土曜・祝日		216円				
	日曜		216円				

*店舗によりご利用時間が異なります。また、一部ATMが設置されていない店舗があります。*日曜日の21:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日216円となります。*振込には別途振込手数料が必要となります。なお、当行キャッシュカードによる当行宛の振込はすべて当行本支店扱いとなります。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*法人カードによる預入はお取扱っておりません。

3) ゆうちょ銀行ATM・CD

		0:00	0:30	8:45	18:00	21:00	23:30	
当行カードによる引出	平日		216円	108円		216円		
	土曜		216円					
	日曜・祝日		216円					

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜日・祝日の21:00～翌日8:00まではご利用いただけません。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。

4) ビューアルッテ(ビューカード)ATM

		0:05	8:45	18:00	21:00	23:55	
当行カードによる引出	平日		216円	108円		216円	
	土曜・祝日		216円				
	日曜		216円				

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜日の21:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日216円となります。*カードローンはご利用いただけません。

5) イオン銀行ATM

		0:00	8:00	8:45	18:00	21:00
当行カードによる引出	平日		216円	108円		216円
	土曜・日曜・祝日		216円			

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。

6) 横浜銀行・東京都民銀行・常陽銀行・武蔵野銀行・筑波銀行・山梨中央銀行・東邦銀行ATM

		0:00	8:00	8:45	18:00	21:00
当行カードによる引出・振込	平日		108円	無料		108円
	土曜・日曜・祝日		108円			

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*振込の際は、別途振込手数料がかかります。

振込手数料

(1件あたり)

利用区分		同一店宛	当行本支店宛	他行宛
窓口ご利用の場合	電信扱	3万円以上	540円	864円
		3万円未満	324円	648円
	文書扱	3万円以上	—	864円
		3万円未満	—	648円
ATMご利用の場合(キャッシュカード扱い)	電信扱	3万円以上	無料	432円
	3万円未満	無料	108円	270円
ATMご利用の場合(現金扱い)	電信扱	3万円以上	432円	648円
	3万円未満	216円	216円	432円
テレフォン banking、インターネット banking、モバイル banking(無人対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	432円
	3万円未満	無料	無料	216円
テレフォン banking(オペレータ対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	432円
	3万円未満	無料	108円	216円
エレクトロニック・banking(EB)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	648円
		1万円以上3万円未満	無料	108円
	1万円未満	無料	108円	324円*
	3万円以上	216円	324円	648円
MT・FD ご利用の場合	電信扱	1万円以上3万円未満	108円	432円
		1万円未満	108円	324円*

*キャッシュカードによるATMでのお振込には、別途ATM利用手数料が必要となります。
*[E-net ATM][ローソンATM][セブン銀行ATM]での当行キャッシュカードによる当行宛のお振込は、すべて当行本支店扱いとなります。
*2017年7月3日(月)振込指定日分より432円に改定となっております。

定額自動送金手数料

(1) 取扱手数料

1回	108円
----	------

*1回あたり手数料(消費税込)×送金回数にて算出します。

(2) 振込手数料

	同一店宛	当行本支店宛	他行宛
3万円以上	216円	216円	648円
3万円未満	108円	108円	432円

金利選択型住宅ローン(ベストチョイス21)繰上返済等手数料

	変動金利期間中	固定金利期間中	固定金利期間終了時
一部繰上返済	5,400円	21,600円	5,400円
全額繰上返済	21,600円	32,400円	21,600円
条件変更(上記以外)	5,400円	5,400円	5,400円
金利選択時の手数料	5,400円 (変動金利から固定金利に変更する場合のみ)		

両替機利用カード年間手数料

1枚	年間15,552円
----	-----------

*新宿支店は上記と異なる手数料となります。
*両替機利用カードのご利用は1日あたり3回が上限となります。

両替機利用手数料(従量料金)

(1件あたり)

両替枚数	1~500枚	501枚以上
手数料	100円	200円 (500枚毎に100円を加算)

*キャッシュカードのご利用により1日1回100枚まで無料となります。
*両替機利用カードをご使用いただいた場合は、両替機利用手数料はかかりません。
*新宿支店は上記と異なる手数料となります。

窓口両替手数料

(1件あたり)

両替枚数	1~50枚	51~1,000枚	1,001~2,000枚	2,001枚以上
手数料	無料	324円	648円	972円 (1,000枚毎に324円を加算)

*お客さまがご持参された紙幣・硬貨の合計枚数とお持ち帰りになる紙幣・硬貨の合計枚数のいずれか多い方の枚数が対象となります。
*窓口での現金によるご預金のお引出しの際(集配金の際を含む)に金種をご指定される場合、ご指定の紙幣・硬貨の合計枚数に応じて、窓口での両替手数料と同額の手数料をお支払いいただけます。
*同一金種への交換(新券への交換、汚損した現金の交換等)、記念硬貨への交換及び記念硬貨からの交換は無料です。
*複数のご名義であっても、両替を1度に行う場合、枚数を合算して手数料をいただきます。
*新宿支店は上記と異なる手数料となります。

手形・小切手帳発行手数料

当座預金開設	1口座	10,800円
一般当座小切手帳	1冊(50枚綴)	1,080円
約束手形帳・為替手形帳	1冊(50枚綴)	2,160円
ホームチェック	1冊(20枚綴)	324円
マル専約束手形	手形用紙(1枚)	540円
	取扱手数料(1契約)	3,240円

代金取立手数料

(1通あたり)

同一交換*	本支店払	324円
	他行払	324円
県外交換*	本支店払	648円
	他行払	756円
個別取立	本支店払	756円
	他行払(普通扱)	972円
	他行払(至急扱)	1,080円

*窓口等で即時入金する3日券扱いの手形・小切手の取立については無料です。

ICキャッシュカード発行手数料

ICキャッシュカード(単体型)*	1枚	発行時1,080円
ICキャッシュ/クレジット一体型 ICキャッシュ/デビット一体型 (スーパーカード一体型)		無料

*ポイントサービス「ひまわり宣言」による割引を実施しています。

貸金庫・セーフティーケース手数料

種類	高さ	平日のみご利用できるタイプ			365日ご利用 できるタイプ
		1カ月払	6カ月払	6カ月払	6カ月払
自動貸金庫	6cm以下	1,404円	8,208円	10,152円	
	6cm超8cm以下	1,620円	9,504円	11,448円	
	8cm超10cm以下	1,836円	10,800円	12,744円	
	10cm超12cm以下	2,052円	12,096円	14,040円	
	12cm超16cm以下	2,484円	14,688円	16,632円	
	16cm超20cm以下	2,916円	17,280円	19,224円	
本貸金庫		年額	7,560円~63,936円		
簡易貸金庫		年額	9,720円		
セーフティーケース		年額	6,480円		
簡易セーフティーケース		1個1回	1,620円		

*365日ご利用できるタイプの使用料支払方法は、6カ月払のみです。
*コンサルティングプラザに設置されている自動貸金庫の使用料は平日タイプのもとなります。

発行・再発行手数料

自己宛小切手発行手数料	1枚	540円	
残高証明書発行手数料	1通	継続発行分	432円
		随時発行分	756円
		お客さまご指定書式	1,620円
		監査法人向	3,240円
取引明細表発行手数料	依頼1件	540円	
再発行に関する手数料	通帳1冊	1,080円	
	キャッシュカード・ICキャッシュカード・ ICローンカード・両替機利用カード・ 自動貸金庫ボックスカード	1,080円	

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111(代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

2017年7月発行



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C014687